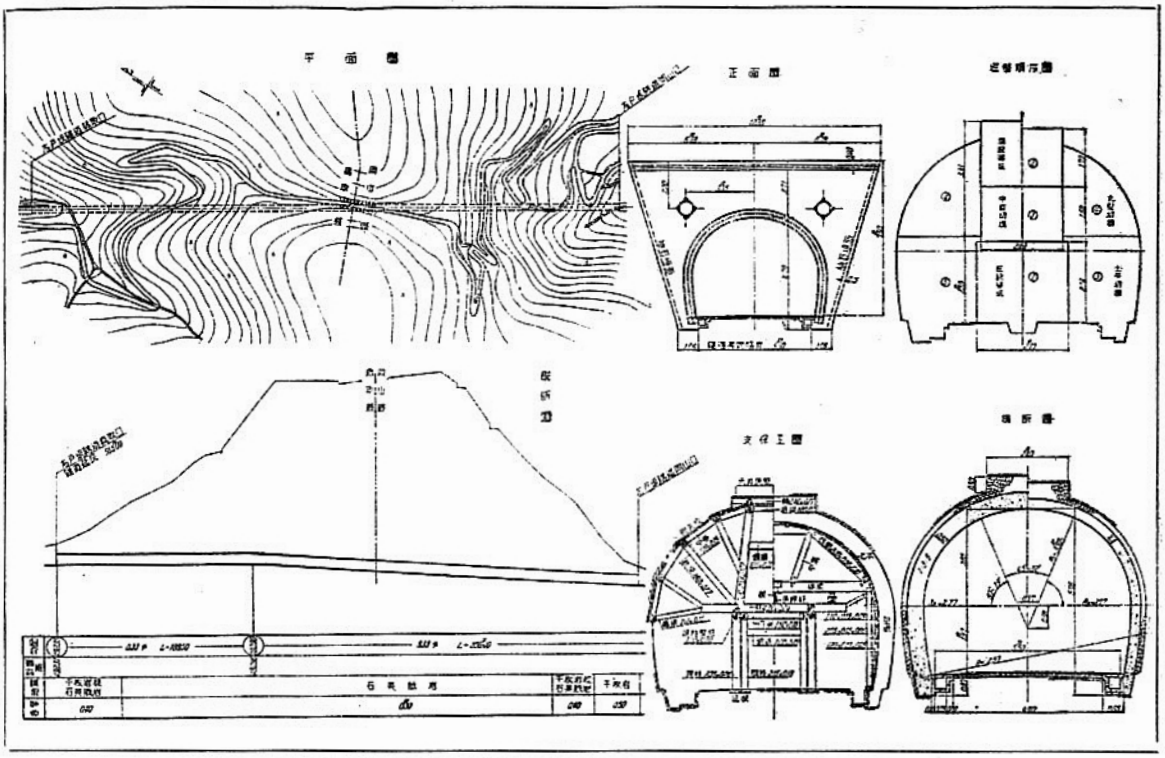
志戸坂隧道

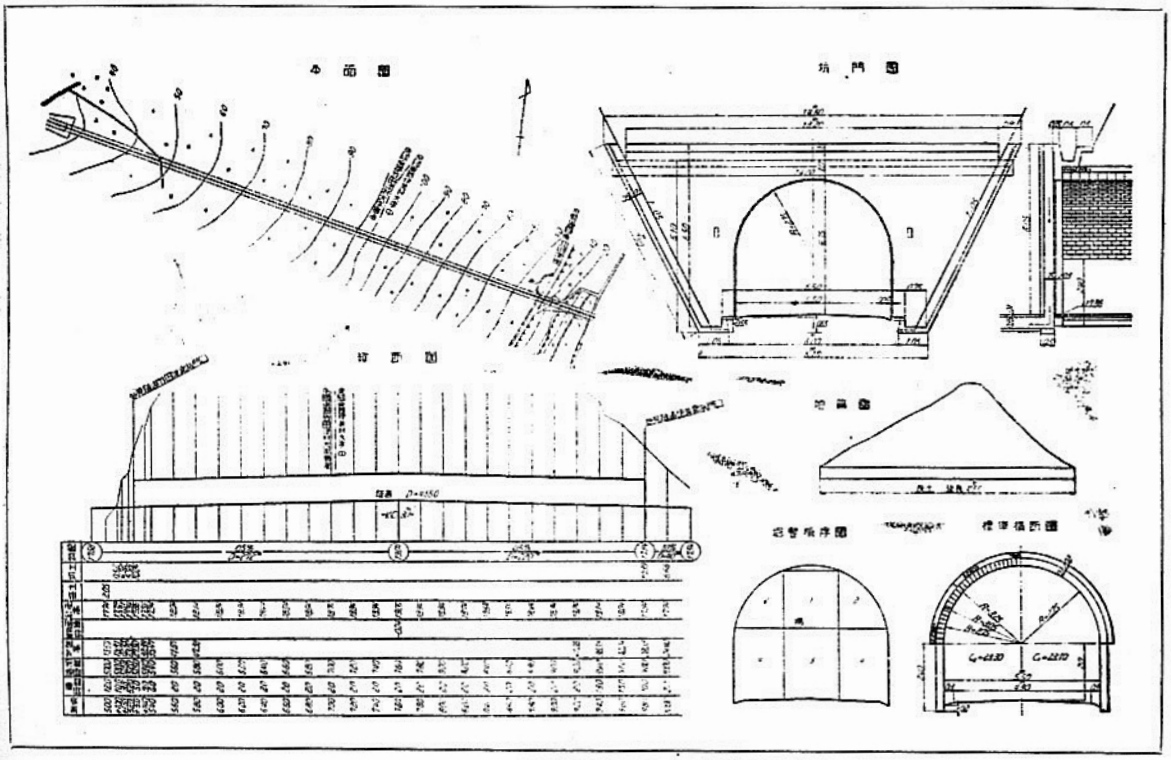


所在地	鳥取縣八頭郡山郷村 岡山縣英田郡西粟倉村界(志戸坂峠)	路線名	指定府縣道智頭大原線	工期	起工	昭和 8 年 4 月 5 日		
延長	565.00 m	線形	直線		掘鑿	導坑 333 日間 切擴 485 〃		
縱斷勾配	鳥取口より 189.5m (上り) 0.33 岡山口より 375.5m (上り) 3.33%	有效幅員	5.50 m		坑門工	63 日間		
高 有效高	4.50 m	掘鑿斷面 導坑	底設導坑 6.40 / 頂設導坑 4.10～4.50 m²		竣工	昭和 9 年 8 月 16 日		
高 中央高	4.79 〃	掘鑿斷面 切擴	31.00～30.30 〃		卷立工	469 日間		
地質	千枚岩様石英脈岩並に石英脈岩 湧水多量	工事執行方法	請負工事		鋪裝	32 日間		
卷立方法材料及厚	穹拱	場所打コンクリート 岡山口より 41.9m 卷厚 50cm 鳥取口より 60.00m 岡山口より 41.90～81.90m 間 卷厚 40cm 中央部 418.50m 卷厚 30cm (坑門 2×2.30=4.60m)						
	側壁	場所打コンクリート卷厚は夫々穹拱部に同じ						
路面工種及厚		膠石鋪裝厚 4.0cm 基礎均しコンクリート 8.0cm						
排水設備及防水工		側溝幅 35cm 高 30cm 穹拱及側壁背部 15cm 厚 栗石填充部を通し竹管により側溝へ流入防水工としてマグナー穹拱内壁塗布						
照明設備		電燈 20W 坑門兩側 2 ケ宛坑内 20m 間隔に 28 ケ配置						

掘鑿				
主要機械			—	
施工中の換氣排水設備			—	
掘鑿勞力	導坑	火藥使用部分	— 人/m³ (一交代)	
		火藥使用せざる部分	— 〃 (— 〃)	
	切擴	火藥使用部分	— 人/m³ (一交代)	
		火藥使用せざる部分	— 〃 (— 〃)	
火藥使用量	導坑		— kg/爆破m³	
	切擴		— 〃	
穿孔長	導坑		— m/爆破m³	
	切擴		— 〃	

工事費			金額(圓)	單價
總工費			171 376.0	303.3 (圓/m)
掘鑿費	導坑	火藥使用部分	104 819.0	5.4 (圓/m³)
		火藥使用せざる部分		
	切擴	火藥使用部分		
		火藥使用せざる部分		
支保工費			—	— (圓/掘鑿m³)
卷立費			43 561.0	15.5 (圓/卷立m²)
坑門費			6 143.0	3 071.5 (圓/個)
路面費			5 507.0	2.2 (圓/m²)
其の他			11 346.0	—

妙見隧道



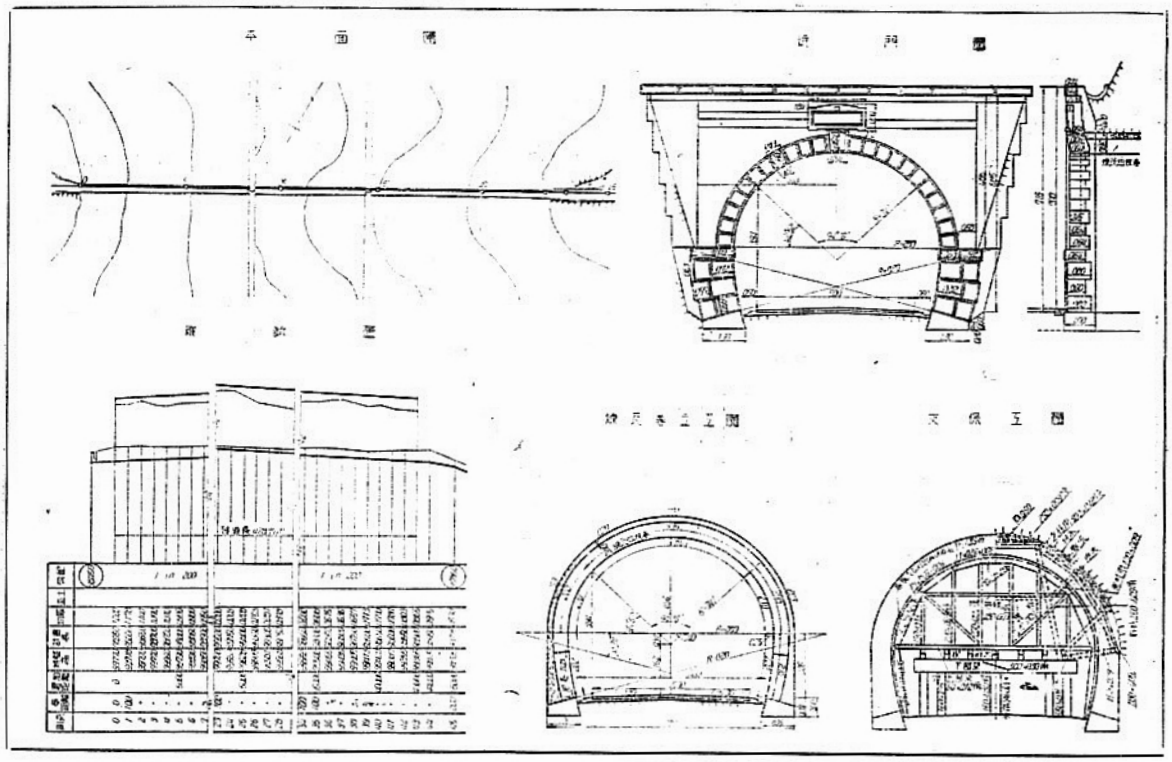
所在地		大分縣東國東郡竹田津町伊美村界	路線名	府縣道國東竹田津線	工期	起工	昭和 8 年 7 月 11 日		
延長		455.00 m	線形	直線		掘鑿	導坑 一 日間 切擴 二 〃		
縱斷勾配		0.5 %	有效幅員	5.50 m		坑門工	— 日間		
高	有效高	4.00 m	掘鑿斷面	導坑	4.00 m²		竣工	昭和 9 年 7 月 11 日	
	中央高	4.75 〃		切擴	卷立部 25.30 卷立なき部 19.10 〃		卷立工	— 日間	
地質		灰石 湧水なし	工事執行方法	大分縣直轄工事			鋪裝	— 日間	

卷立方法材料及厚	穹拱	コンクリートブロック卷立 配合 1:3:6 延長 20m 厚 30cm
	側壁	場所打コンクリート 配合 1:3:6 延長 20m 厚 30cm
路面工種及厚		砂利撒布
排水設備及防水工		L 型側溝 防水工竝に排水工なし
照明設備		電燈 100W 5 ヶ 間隔 60m

掘鑿	主要機械			—
	施工中の換氣排水設備			—
	掘鑿勞力	導坑	火藥使用部分	1.8人/m³ (3 交代)
			火藥使用せざる部分	— 〃 (— 〃)
		切擴	火藥使用部分	1.0人/m³ (3 交代)
			火藥使用せざる部分	— 〃 (— 〃)
	火藥使用量	導坑		0.70kg/破壞m³
		切擴		0.45 〃
	穿孔長	導坑		0.70 m/破壞m³
		切擴		0.45 〃

工事費			金額(圓)	單價
總工費			28 250.0	62.1 (圓/m)
掘鑿費	導坑	火藥使用部分	5 951.0	3.3 (圓/m³)
		火藥使用せざる部分	—	— 〃
	切擴	火藥使用部分	17 361.0	2.0 (圓/m³)
		火藥使用せざる部分	—	— 〃
支保工費			—	— (圓/掘鑿m³)
卷立費			1 313.0	4.9 (圓/卷立m²)
坑門費			1 032.0	516.0 (圓/個)
路面費			380.0	0.2 (圓/m²)
其の他			2 213.0	—

仲哀隧道



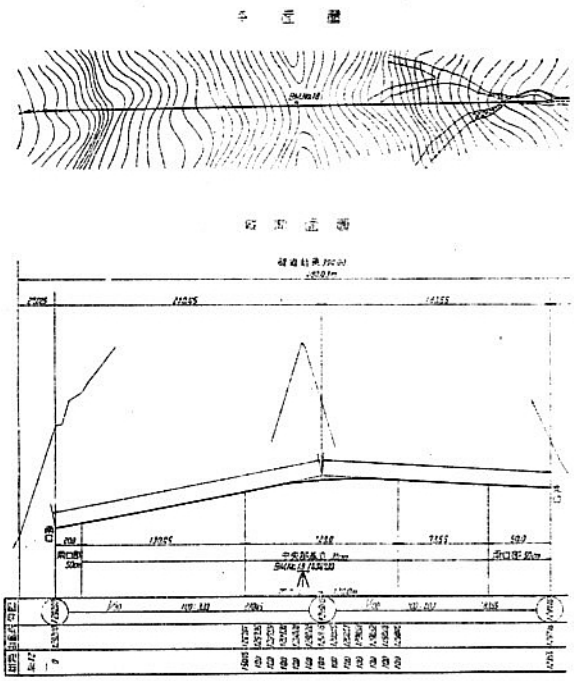
所在地	福岡縣京都郡久保村大字松田田川部勾舍村大字吳地内	路線名	指定府縣道福岡行橋線	工期	起工	昭和 2 年 11 月 13 日
延長	430.00 m	線形	直線		掘鑿	導坑 — 日間 切擴 258 〃
縱斷勾配	0.5 %	有效幅員	5.00 m		坑門工	43 日間
高 有效高	3.95 m	掘鑿斷面 導坑	— m²		竣工	昭和 4 年 1 月 10 日
高 中央高	5.0 〃	掘鑿斷面 切擴	19.90 〃		卷立工	103 日間
地質	花崗岩	工事執行方法	福岡縣直轄工事		鋪裝	72 日間

卷立方法材料及厚	穹拱	煉瓦卷 40m（煉瓦卷厚 46cm）中央岩石掘鑿の儘 裏詰栗石入コンクリート 厚 50cm
	側壁	同 上
路面工種及厚		コンクリート鋪裝厚 14cm 上層 1:1.5:3 下層 1:3:6 各厚 7cm
排水設備及防水工		岩盤より漏水する箇所のみ漏水覆として亞鉛引鐵板使用す
照明設備		—

掘鑿	主要機械			電氣發破機 1 臺 發電機 1 臺 發動機 1 臺
	施工中の換氣排水設備			—
	掘鑿勞力	導坑	火藥使用部分	— 人/m³（一交代）
			火藥使用せざる部分	— 〃（— 〃）
		切擴	火藥使用部分	1.83人/m³（一交代）
			火藥使用せざる部分	— 〃（— 〃）
	火藥使用量	導坑		— kg/爆破m³
		切擴		0.88 〃
	穿孔長	導坑		— m/爆破m³
		切擴		0.5 〃

工事費			金額(圓)	單價
總工費			74 415.1	173.1（圓/m）
掘鑿費	導坑	火藥使用部分	—	—（圓/m³）
		火藥使用せざる部分	—	— 〃
	切擴	火藥使用部分	51 852.6	6.1（圓/m³）
		火藥使用せざる部分	—	— 〃
支保工費			2 787.8	2.5（圓/掘鑿m³）
卷立費			8 254.6	13.6（圓/卷立m²）
坑門費			3 226.7	1 613.3（圓/個）
路面費			7 754.6	3.6（圓/m²）
其の他			538.8	—

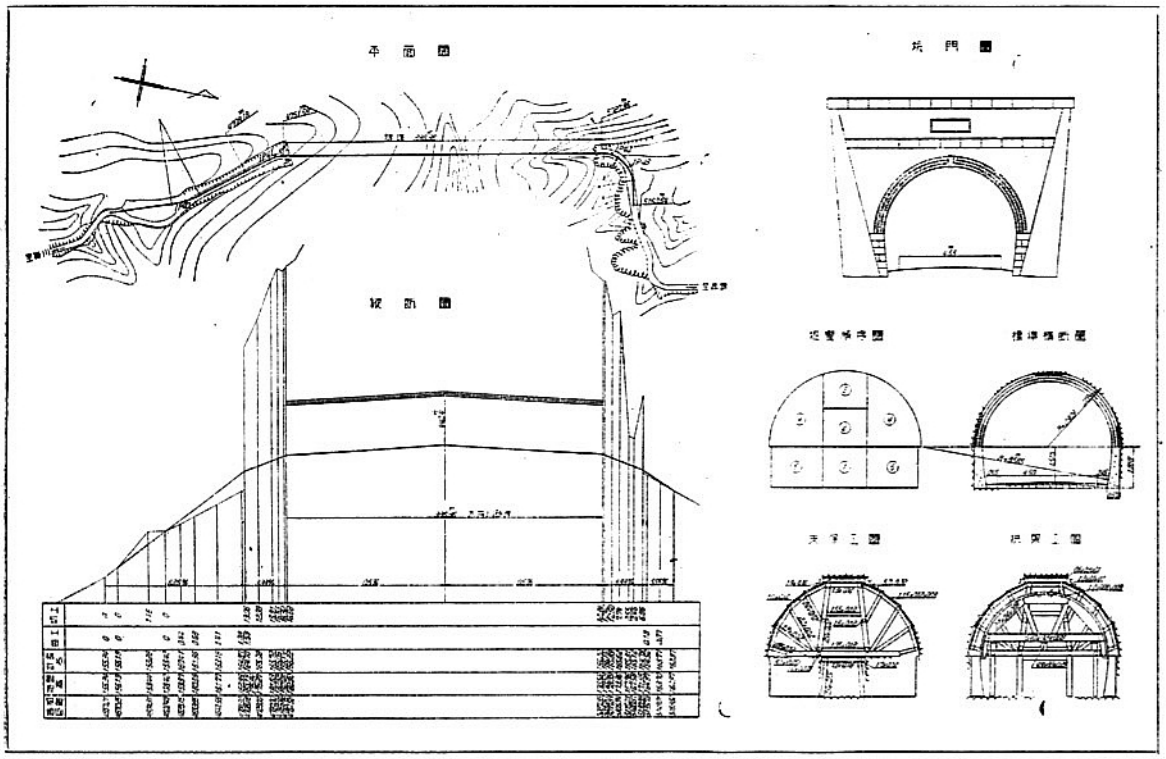
御坂隧道



所在地	山梨縣東八代郡黒駒村界南都留郡河口村		路線名	國道八號線	工期	起工	昭和 5 年 10 月 15 日	
延長	394.00 m		線形	直線		掘鑿	導坑 100 日間 切擴 150 〃	
縱斷勾配	210.45m の部分 3.333 % 183.55m の部分 1.000 %		有效幅員	5.50 m		坑門工	25 日間	
高 有效高	(舊細則) 4.50 m		掘鑿斷面 導坑	3.0 m²		竣工	昭和 6 年 7 月 31 日	
高 中央高	4.75 〃		掘鑿斷面 切擴	兩口分 31.12 中央分 29.16 〃		卷立工	120 日間	
地質	石英粗綠岩		工事執行方法	請負工事		鋪裝	15 日間	
卷立方法材料及厚	穹拱	現場打コンクリート 配合 1：2：4 兩坑門附近延長 70.0m は卷立厚 50cm コンクリートブロック 1列 47枚卷(30×30×25cm) 配合 1：2：4 中央部 附近延長 324.0m						
	側壁	兩坑門附近延長 70.0m は卷立厚 50cm の現場打コンクリート配合 1：2：4 中央部 〃 324.0m は 〃 30cm の 〃 〃 〃						
路面工種及厚	基礎コンクリート厚 3cm 配合 1：3：6 路面鋪裝ソリデヂットコンクリート厚 4cm							
排水設備及防水工	路側 L 型側溝に依り排水 側壁の下部に水拔孔徑 4cm を 5m 間隔に設置							
照明設備	60W 電燈 12 ケを河口村側より 30m 毎に點す							

						金額(圓)	單價
掘鑿	主要機械			—	工事費	總工費	151 260.2	383.9 (圓/m)
	施工中の換氣排水設備			底設導坑に依る自然排水		掘鑿費 導坑 火藥使用部分	7 880.0	6.7 (圓/m³)
	掘鑿勞力	導坑	火藥使用部分	3.5人/m³ (2 交代)		掘鑿費 導坑 火藥使用せざる部分	—	— 〃
			火藥使用せざる部分	— 〃 (— 〃)		掘鑿費 切擴 火藥使用部分	52 642.4	4.4 (圓/m³)
		切擴	火藥使用部分	1.5人/m³ (1 交代)		掘鑿費 切擴 火藥使用せざる部分	—	— 〃
			火藥使用せざる部分	1.0 〃 (1 〃)		支保工費	10 445.0	0.8 (圓/掘鑿m³)
	火藥使用量	導坑		0.94kg/爆破m³		卷立費	57 049.9	10.8 (圓/卷立m²)
		切擴		0.5 〃		坑門費	7 532.6	北 3 740.0 南 3 792.0 (圓/個)
	穿孔長	導坑		4.5 m/爆破m³		路面費	6 657.2	3.7 (圓/m²)
		切擴		3.0 〃		其の他	9 053.1	—

大和田隧道



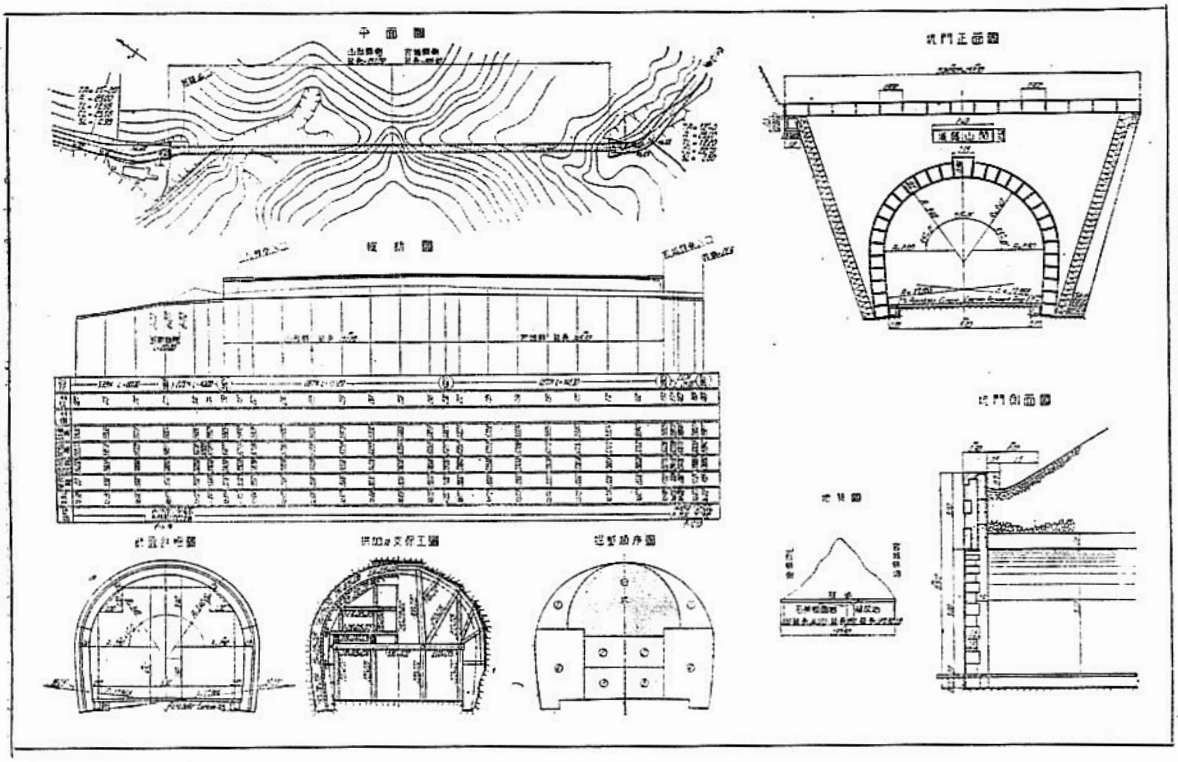
所在地	靜岡縣小笠郡原泉村大和田		路線名	府縣道東川根掛川線	工期	起工	昭和 4 年 7 月 29 日	
延長	336.36 m		線形	直線		掘鑿	導坑 220 日間 切擴 295 〃	
縦断勾配	0.05 %		有效幅員	5.40 m		坑門工	95 日間	
高	有效高	(舊細則) 3.94 m	掘鑿斷面	導坑 3.30 m²		竣工	昭和 5 年 7 月 15 日	
	中央高	4.42 〃		切擴 25.95 〃		巻立工	140 日間	
地質	大井川砂岩 湧水少量斷層褶曲なし		工事執行方法	請負工事		鋪装	15 日間	

巻立方法材料及厚	穹拱	コンクリートブロック配合 1:3:6 長 24.2cm 幅 9.1cm 厚 15cm 二枚巻 延長 9.14m 裏込厚 15cm
	側壁	場所打コンクリート配合 1:3:6 厚 36.4cm 下厚 57.6cm 高 1.82m
路面工種及厚	砂利道	
排水設備及防水工	排水孔 6cm 角 1.8m 間隔側溝底より 10cm 上りて一通り及同底より 1.5m 上りて一通り防水工拱頂部湧水箇所に悉々施工, 配合 1:2 モルタルに急硬劑 K.T.O. 混入 厚 4.5mm 塗	
照明設備	50W 電燈 10 ケ中央を標準に 27m 間隔に丸形頂部に設置	

掘鑿	主要機械		—	
	施工中の換氣排水設備		—	
	掘鑿勞力	導坑 火藥使用部分	3.6人/m³ (2 交代)	
		導坑 火藥使用せざる部分	— 〃 (— 〃)	
		切擴 火藥使用部分	2.1人/m³ (2 交代)	
		切擴 火藥使用せざる部分	— 〃 (— 〃)	
	火藥使用量	導坑	0.60kg/爆破m³	
		切擴	0.12 〃	
	穿孔長	導坑	6.00m/爆破m³	
		切擴	1.50 〃	

工事費			金額(圓)	單價
總工費			134 460.0	399.8 (圓/m)
掘鑿費	導坑	火藥使用部分	10 433.0	9.5 (圓/m³)
		火藥使用せざる部分	—	— 〃
	切擴	火藥使用部分	55 582.0	6.4 (圓/m³)
		火藥使用せざる部分	—	— 〃
支保工費			14 568.0	1.5 (圓/掘鑿m³)
巻立費			45 195.0	10.5 (圓/巻立m²)
坑門費			7 032.0	3.5 (圓/個)
路面費			1 490.0	0.8 (圓/m²)
其の他			160.0	—

關山隧道

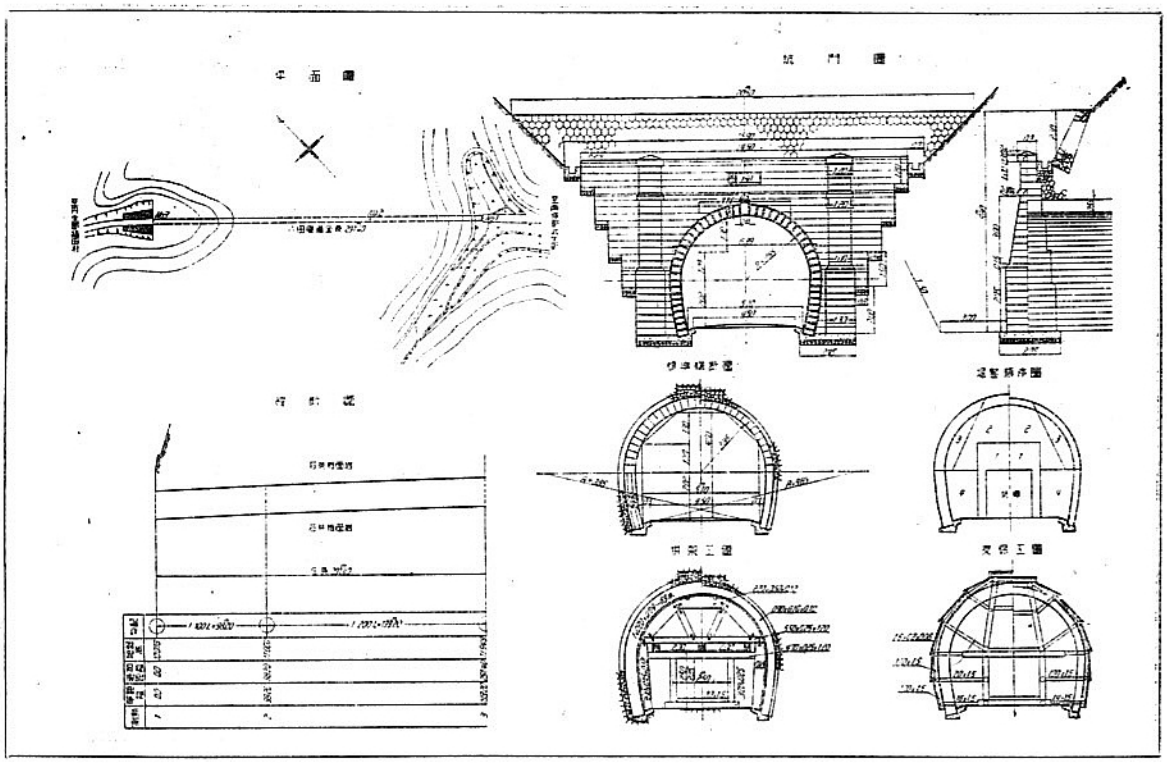


所在地	山形縣北村山郡高崎村宮城縣宮城郡廣瀨村界(關山峠)	路線名	指定府縣道楯岡仙臺線	工期	起工	昭和 11 年 9 月 24 日		
延長	297.50 m	線形	直線		掘鑿	導坑 — 日間 切擴 235 〃		
縱斷勾配	0.67 %	有效幅員	5.50 m		坑門工	43 日間		
高 有效高	4.50 m	掘鑿斷面 導坑	— m²		竣工	昭和 12 年 7 月 31 日		
高 中央高	5.00 〃	掘鑿斷面 切擴	24.36 〃		卷立工	91 日間		
地質	石英粗面岩及凝灰岩斷層褶曲等なし	工事執行方法	請負工事		鋪裝	4 日間		
卷立方法材料及厚	穹拱	場所打コンクリート 配合 1:2:4 長 28.20m 厚 60cm, 長 188.90m 厚 40cm, 長 78.60m 厚 30cm, 卷立裏厚 20~100cm						
	側壁	場所打コンクリート 配合 1:3:6 以下同上 裏人平均厚 10cm						
路面工種及厚	配合 1:2:4 コンクリート鋪裝厚 10cm							
排水設備及防水工	排水孔徑 3cm 間隔 6m 2 個所, 防水工卷立繼手にルーフイング二枚卷及セメント空袋を以て防水せり							
照明設備	—							

掘鑿				
主要機械			—	
施工中の換氣排水設備			—	
掘鑿勞力	導坑	火藥使用部分	— 人/m³ (— 交代)	
		火藥使用せざる部分	— 〃 (— 〃)	
	切擴	火藥使用部分	1.8人/m³ (— 交代)	
		火藥使用せざる部分	— 〃 (— 〃)	
火藥使用量	導坑		—kg/爆破m³	
	切擴		0.612 〃	
穿孔長	導坑		— m/爆破m³	
	切擴		1.6 〃	

工事費			金額(圓)	單價
總工費			72 463.0	143.6 (圓/m)
掘鑿費	導坑	火藥使用部分	—	— (圓/m³)
		火藥使用せざる部分	—	— 〃
	切擴	火藥使用部分	23 971.0	3.5 (圓/m³)
		火藥使用せざる部分	—	— 〃
支保工費			5 216.0	0.8 (圓/掘鑿m³)
卷立費			34 841.0	8.0 (圓/卷立m²)
坑門費			4 210.0	2 105.0 (圓/個)
路面費			2 775.0	1.7 (圓/m²)
其の他			1 450.0	—

八田隧道



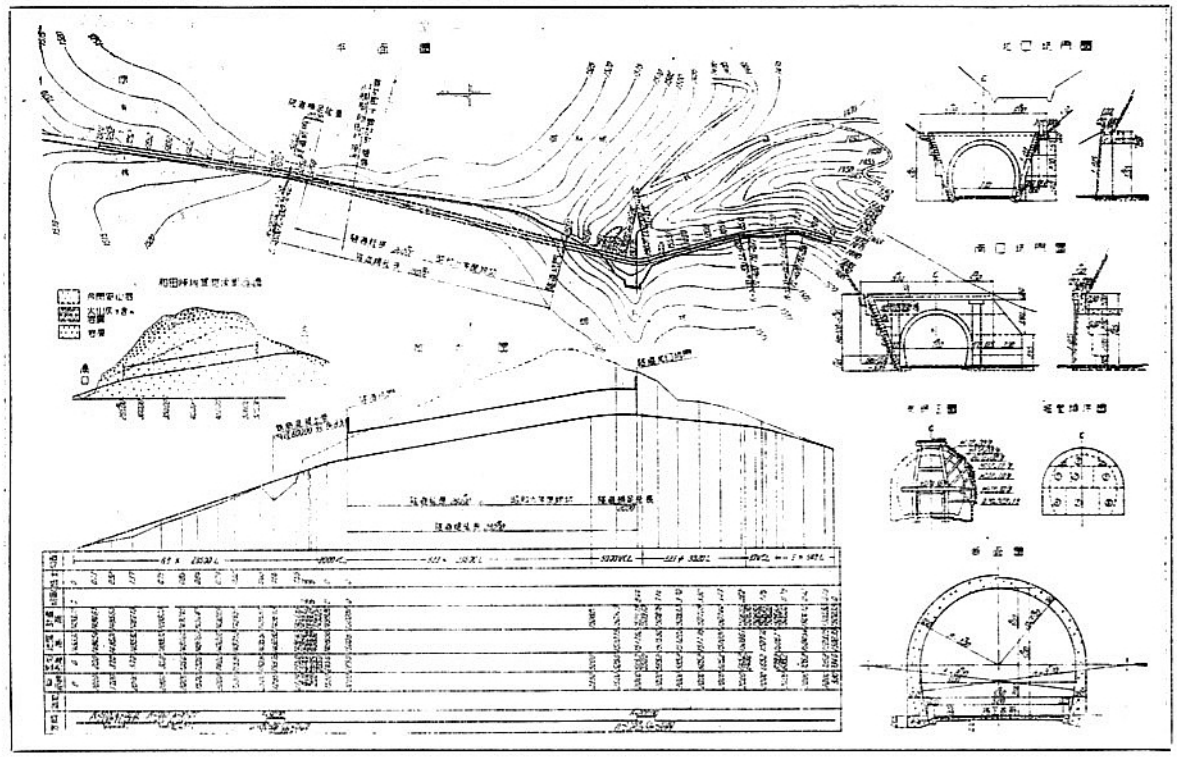
所在地	福井縣丹生郡宮崎村八田	路線名	府縣道梅浦武生線	工期	起工	大正 12 年 6 月 — 日	
延長	291.40 m	線形	直線		掘鑿	導坑 728 日間 切擴 290 〃	
縱斷勾配	1.0～0.5 %	有效幅員	5.10 m		坑門工	60 日間	
高 有效高	4.5 m	掘鑿斷面 導坑	4.0 m²		竣工	昭和 9 年 3 月 — 日	
高 中央高	4.78 〃	掘鑿斷面 切擴	26.0 〃		卷立工	146 日間	
地質	石英粗面岩 兩坑口附近より湧水す	工事執行方法	請負工事		鋪裝	5 日間	

卷立方法材料及厚	穹拱	配合 1:3:6 コンクリート塊 延長 291.4m 49 枚卷 裏込厚 25cm
	側壁	同上
路面工種及厚		砂利道 厚 15cm
排水設備及防水工		排水孔徑 3cm 間隔 1.0m 特殊の防水工を施さず
照明設備		—

掘鑿	主要機械			—	
	施工中の換氣排水設備			—	
	掘鑿勞力	導坑	火藥使用部分	1.6人/m³ (2 交代)	
			火藥使用せざる部分	— 〃 (— 〃)	
		切擴	火藥使用部分	0.8人/m³ (2 交代)	
			火藥使用せざる部分	— 〃 (— 〃)	
	火藥使用量	導坑		0.5kg/爆破m³	
		切擴		0.25 〃	
	穿孔長	導坑		5.0m/爆破m³	
		切擴		2.5 〃	

工事費			金額(圓)	單價
總工費			75 600.0	259.4 (圓/m)
掘鑿費	導坑	火藥使用部分	5 245.0	4.5 (圓/m³)
		火藥使用せざる部分	—	— 〃
	切擴	火藥使用部分	17 047.0	2.3 (圓/m³)
		火藥使用せざる部分	—	— 〃
支保工費			13 404.0	1.5 (圓/掘鑿m³)
卷立費			34 676.0	8.6 (圓/卷立m²)
坑門費			4 848.0	2 424.0 (圓/個)
路面費			380.0	— (圓/m²)
其の他			—	—

和田嶺隧道



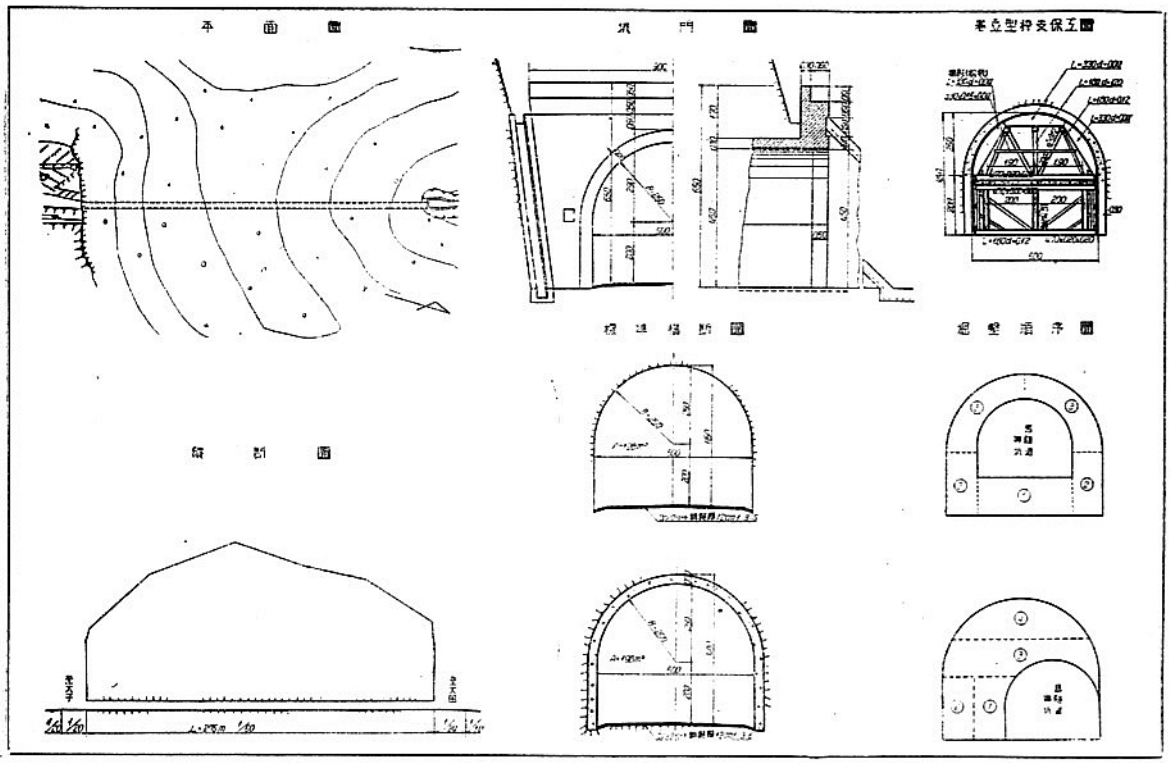
所在地	長野縣小縣郡和田村諏訪郡下諏訪町界(和田嶺)	路線名	國道十四號線	工期	起工	昭和 6 年 7 月 26 日		
延長	280.00 m	線形	和田村側 20.00m は中心線屈曲半徑 200m 下諏訪町側 260m 直線		掘鑿	導坑 59 日間 切擴 178 〃		
縱斷勾配	和田村側 20.00m は +2.21% 下諏訪町側 260.00m は −3.33%	有效幅員	5.00 m		坑門工	96 日間		
高 有效高	(新細則) 5.00 m	掘鑿斷面 導坑	5.52 m²		竣工	昭和 7 年 9 月 23 日		
高 中央高	5.00 〃	掘鑿斷面 切擴	甲斷面延長 60m 部分は 35.05 乙斷面延長 220m 部分は 33.47 〃		卷立工	149 日間		
地質	火山灰(和田村側)安山岩(下諏訪町側) 湧水有り	工事執行方法	國直轄(內務省新潟土木出張所)		鋪裝	38 日間		

卷立方法材料及厚	寫拱	場所打コンクリート配合 1:3:6 甲斷面延長 60.00m 厚 50.0cm 乙斷面延長 220.00m 厚 40.0cm
	側壁	場所打コンクリート配合 1:3:6 甲斷面延長 60.00m分 厚 50.0~75.0cm 乙斷面延長 220.00m分 厚 40.0~65.0cm
路面工種及厚		上層膠石配合 1:2 厚 5.0cm 下層コンクリート配合 1:3:6 厚 12cm
排水設備及防水工		兩側に上幅 25cm 深 15cm の L 型側溝を有す

照明設備			—		
掘鑿	主要機械		20吋² 石油發動機 1 臺, 空氣壓搾機 1 臺, パワフライジヤキハンマー 3 臺		
掘鑿	施工中の換氣排水設備		ウイング ポンプ 2 臺		
掘鑿	勞力	導坑 火藥使用部分	2.38人/m³ (3 交代)		
掘鑿	勞力	導坑 火藥使用せざる部分	0.95 〃 (3 〃)		
掘鑿	勞力	切擴 火藥使用部分	1.43人/m³ (3 交代)		
掘鑿	勞力	切擴 火藥使用せざる部分	0.84 〃 (3 〃)		
掘鑿	火藥使用量	導坑	0.628kg/爆破m³		
掘鑿	火藥使用量	切擴	0.219 〃		
掘鑿	穿孔長	導坑	—m/爆破m³		
掘鑿	穿孔長	切擴	— 〃		

工事費			金額(圓)	單價
總工費			92 821.9	331.5 (圓/m)
掘鑿費	導坑	火藥使用部分	5 602.8	5.1 (圓/m³)
掘鑿費	導坑	火藥使用せざる部分	712.7	1.3 〃
掘鑿費	切擴	火藥使用部分	15 025.3	2.1 (圓/m³)
掘鑿費	切擴	火藥使用せざる部分	2 189.8	1.2 〃
支保工費			10 733.9	1.0 (圓/掘鑿m³)
卷立費			40 617.9	19.2 (圓/卷立m²)
坑門費			3 115.5	1 557.8 (圓/個)
路面費			5 554.5	3.6 (圓/m²)
其の他			9 269.5	33.1 〃

月居隧道



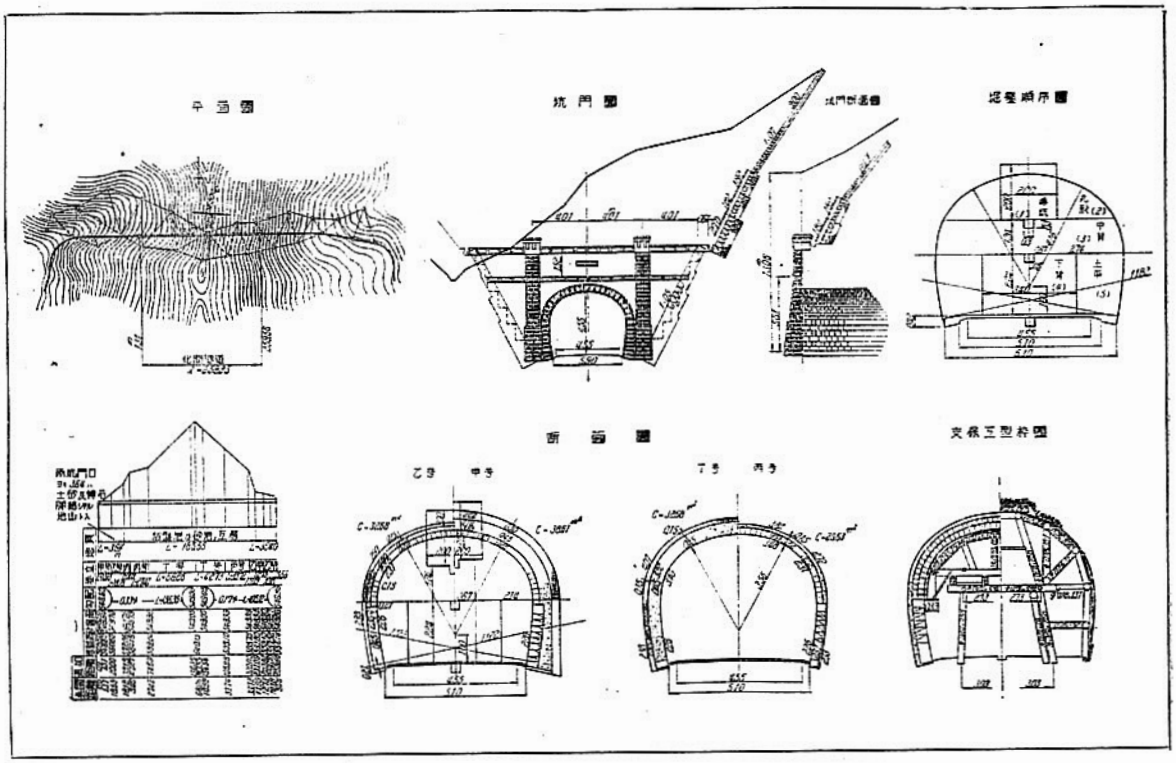
所在地	茨城縣久慈郡袋田村生瀬村界(月居峠)	路線名	府縣道大子太田線	工期	起工	第一期 昭和 9年 7月 25日 第二期 昭和 10年 12月 1日
延長	275.00 m	線形	直線		掘鑿	導坑 — 日間 切擴 250 〃
縦断勾配	2.00 %	有效幅員	5.00 m		坑門工	—
高 有效高	(新細則) 3.50 m	掘鑿斷面 導坑	7.50 m²		竣工	第一期 昭和 10年 3月 31日 第二期 昭和 11年 3月 31日
高 中央高	4.50 〃	掘鑿斷面 切擴	14.50 〃		巻立工	30 日間
地質	火山岩 湧水少量なり	工事執行方法	茨城縣直轄工事		鋪装	90 日間

巻立方法材料及厚	穹拂	場所打コンクリート 配合 1:3:6 延長 7.0m 拂長 8.4m 厚 30cm
	側壁	同上 側壁長 4.66m 同上
路面工種及厚		コンクリート鋪装 配合 1:3:6 厚 0.12m
排水設備及防水工		L 型側溝
照明設備		—

掘鑿	主要機械		—		
	施工中の換氣排水設備		自然換氣及人工水路による自然排水		
	掘鑿勞力	導坑	火藥使用部分	— 人/m³ (—交代)	
			火藥使用せざる部分	— 〃 (— 〃)	
		切擴	火藥使用部分	坑夫 0.6 / 人夫 0.3 人/m³ (—交代)	
			火藥使用せざる部分	— 〃 (— 〃)	
	火藥使用量	導坑		—kg/爆破m³	
		切擴		0.20 〃	
	穿孔長	導坑		—m/爆破m³	
		切擴		0.99 〃	

工事費			金額(圓)	單價
總工費			12 950.1	47.1 (圓/m)
掘鑿費	導坑	火藥使用部分	—	— (圓/m³)
		火藥使用せざる部分	—	— 〃
	切擴	火藥使用部分	9 150.3	2.3 (圓/m³)
		火藥使用せざる部分	—	— 〃
支保工費			—	— (圓/掘鑿m³)
巻立費			683.7	7.5 (圓/巻立m²)
坑門費			455.8	227.9 (圓/個)
路面費			2 038.1	1.5 (圓/m²)
其の他			622.2	—

高研隧道



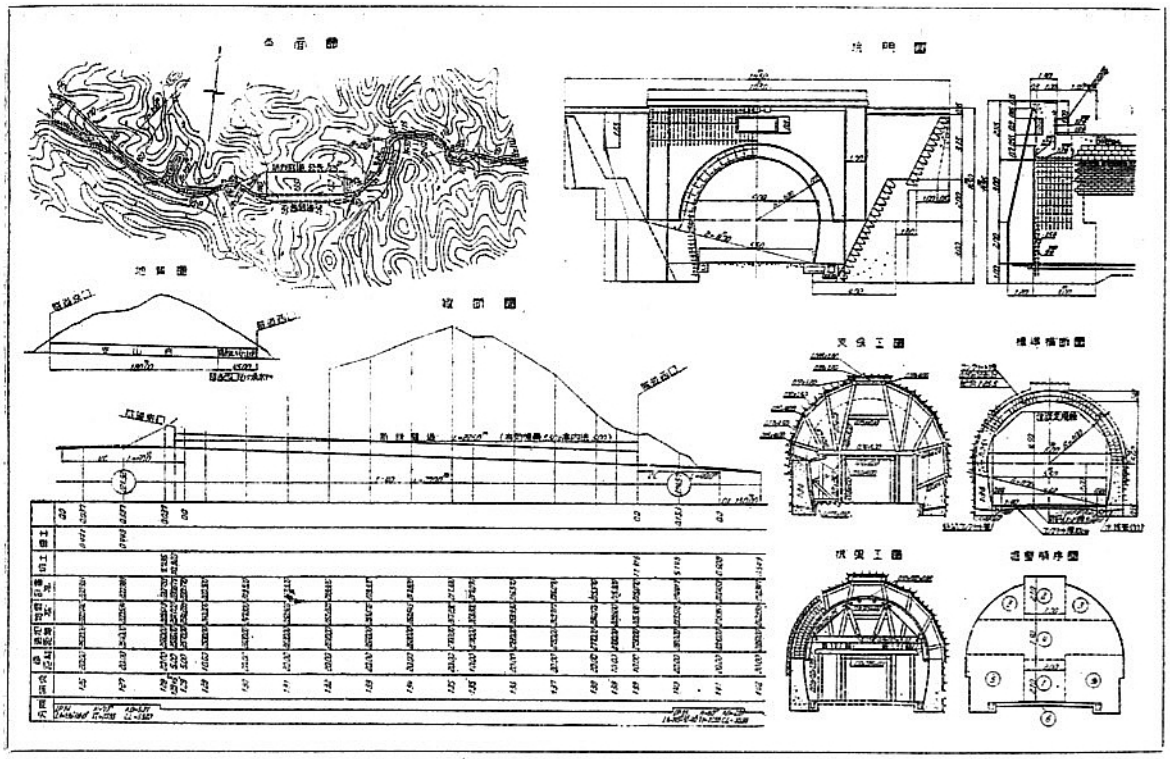
所在地		愛媛縣北宇和郡日吉村高知縣高岡郡檮原村界(高研峠)	路線名	府縣道宇和島須崎線	工期	起工	大正 15 年 10 月 29 日		
延長		258.30 m	線形	直線		掘鑿	導坑 140 日間 切擴 150 〃		
縱斷勾配		0.17 及 0.33 %	有效幅員	5.20 m		坑門工	90 日間		
高	有效高	(舊細則) 4.00 m	掘鑿斷面	導坑 4.22 m²		竣工	昭和 3 年 5 月 24 日		
	中央高	4.55 〃		切擴 甲 34.39 〃 乙 28.46 〃 丙 25.41 〃 丁 28.46 〃		卷立工	180 日間		
地質		粘硬岩及砂岩の互層，土砂轉石膠結したる地山	工事執行方法	請負工事		鋪裝	3 日間		

卷立方法材料及厚	穹拱	石塊岩 30×15×20cm 一枚卷裏結コンクリート (1:3:6) 45cm 23cm 15cm に施工せるものを夫々甲 (延長 36.0) 乙 (延長 101.0) 丙 (延長 9.0) とし 1:3:6 コンクリート厚 45cm に卷立せるものを丁 (延長 111.6) とす
	側壁	甲控 45cm 間知石築積裏詰コンクリート (1:3:6) 35cm 施行 乙控 30cm 間知石築積裏結コンクリート (1:3:6) 15cm 施行 丙同上丁 1:2.5:5 コンクリート厚 45cm
路面工種及厚		砂利敷
排水設備及防水工		2.7m 毎に內徑 6.0cm の水抜を設く
照明設備		—

掘鑿	主要機械		—	
	施工中の換氣排水設備		—	
	掘鑿勞力	導坑 火藥使用部分	2.7人/m³ (3 交代)	
		導坑 火藥使用せざる部分	1.3 〃 (3 〃)	
		切擴 火藥使用部分	1.6人/m³ (3 交代)	
		切擴 火藥使用せざる部分	0.8 〃 (3 〃)	
	火藥使用量	導坑	0.71kg/爆破m³	
		切擴	0.44 〃	
	穿孔長	導坑	8.5m/爆破m³	
		切擴	5.4 〃	

工事費			金額(圓)	單價
總工費			129 991.6	503.3 (圓/m)
掘鑿費	導坑	火藥使用部分	9 173.2	9.5 (圓/m³)
		火藥使用せざる部分	290.7	2.4 〃
	切擴	火藥使用部分	41 259.2	5.9 (圓/m³)
		火藥使用せざる部分	1 012.6	1.3 〃
支保工費			12 677.9	1.9 (圓/掘鑿m³)
卷立費			49 431.3	14.7 (圓/卷立m²)
坑門費			8 750.1	4 375.1 (圓/個)
路面費			173.5	— (圓/m²)
其の他			7 223.1	—

老の坂隧道



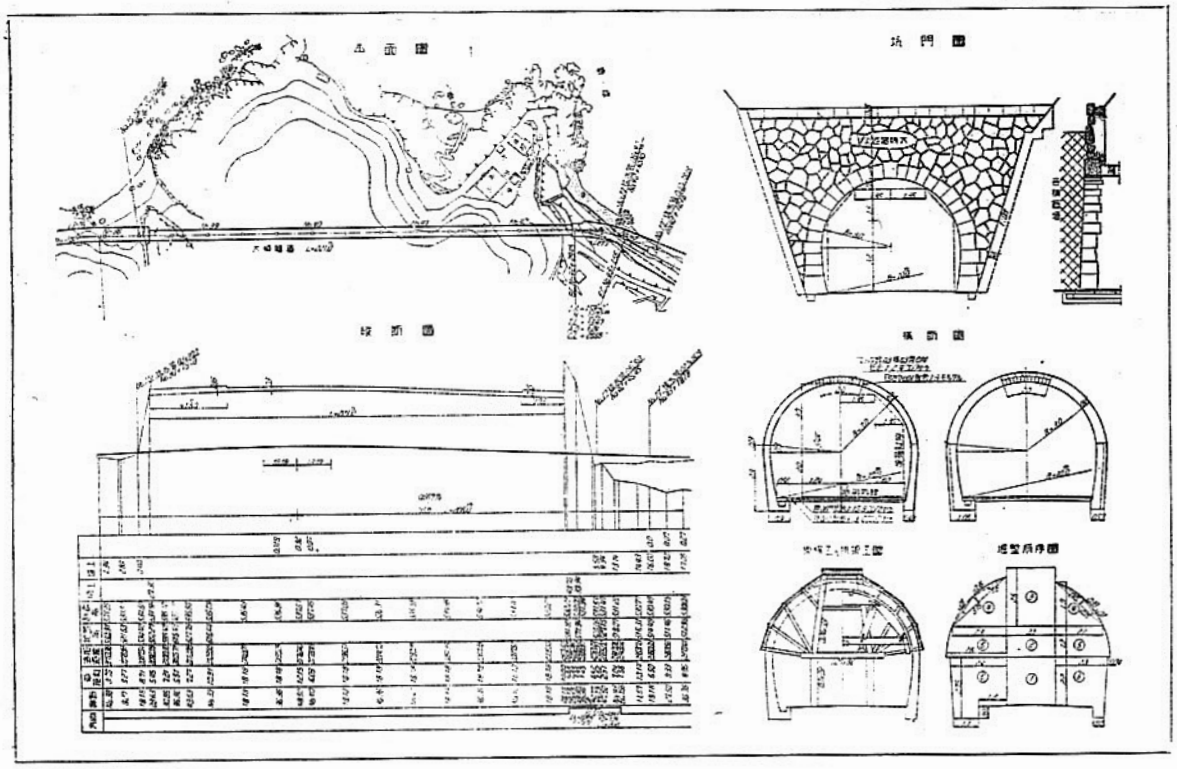
所在地	京都府南桑田郡篠村大字王子	路線名	國道十八號線	工期	起工	昭和 8 年 7 月 16 日	
延長	225.00 m	線形	直線		掘鑿	導坑 121 日間 切擴 155 〃	
縱斷勾配	(片勾配) 2.5 %	有效幅員	5.50 m		坑門工	80 日間	
高 有效高	4.5 m	掘鑿斷面 導坑	4.20 m²		竣工	昭和 9 年 7 月 5 日	
高 中央高	5.0 〃	掘鑿斷面 切擴	37.8 〃		巻立工	120 日間	
地質	龜裂多き安山岩（西口凡そ 45m は粘土化す）	工事執行方法	內務省大阪土木出張所 京都國道改良事務所直轄工事		鋪裝	16 日間	

巻立方法材料及厚	穹拱	大部分はコンクリートブロック（15×23×30cm）巻なり {延長 110m 二枚巻厚 48cm 延長 70m 三枚巻 厚 72cm / 延長 45m 四枚巻厚 96cm}
	側壁	場所打コンクリート 配合 1:3:6 延長 1.10m 厚 55cm 延長 70.0m 厚 80cm 延長 70m 厚 104cm
路面工種及厚		二層式膠石鋪裝 上層 1:2 膠石長 5cm 基礎 1:3:6 コンクリート厚 10cm
排水設備及防水工		鐵筋コンクリート管（內徑 18cm）を路面兩側に設置して排水をなし 防水には巻立外部に「マノール」混和のモルタルを厚 2～3cm 施工し其の外部は亜鉛引鐵板又は杉皮にて覆ふ
照明設備		電燈 100W 1 ケ宛を約30m 間隔に7箇所拱中央上部に取付く

掘鑿	主要機械		電機鑿岩機 3 馬力 2 臺コンクリート混合機 10切1臺 7切1臺 4切 1臺空氣壓搾機1臺	
	施工中の換氣排水設備		自然換氣 自然排水	
	掘鑿勞力	導坑 火藥使用部分	1.6人/m³ (2 交代)	
		導坑 火藥使用せざる部分	— 〃 (— 〃)	
		切擴 火藥使用部分	1.44人/m³ (2 交代)	
		切擴 火藥使用せざる部分	— 〃 (— 〃)	
	火藥使用量	導坑	0.346kg/爆破m³	
		切擴	0.108 〃	
	穿孔長	導坑	4.000 m/爆破m³	
		切擴	5.000 〃	

工事費			金額(圓)	單價
總工費			122 061.1	542.5 (圓/m)
掘鑿費	導坑	火藥使用部分	7 980.7	3.7 (圓/m³)
		火藥使用せざる部分	—	— 〃
	切擴	火藥使用部分	20 305.1	2.9 (圓/m³)
		火藥使用せざる部分	—	— 〃
支保工費			14 895.0	1.6 (圓/掘鑿m³)
巻立費			54 361.5	18.1 (圓/巻立m²)
坑門費			10 779.8	5 389.9 (圓/圓)
路面費			2 626.4	2.1 (圓/m²)
其の他			11 112.6	—

大崎隧道



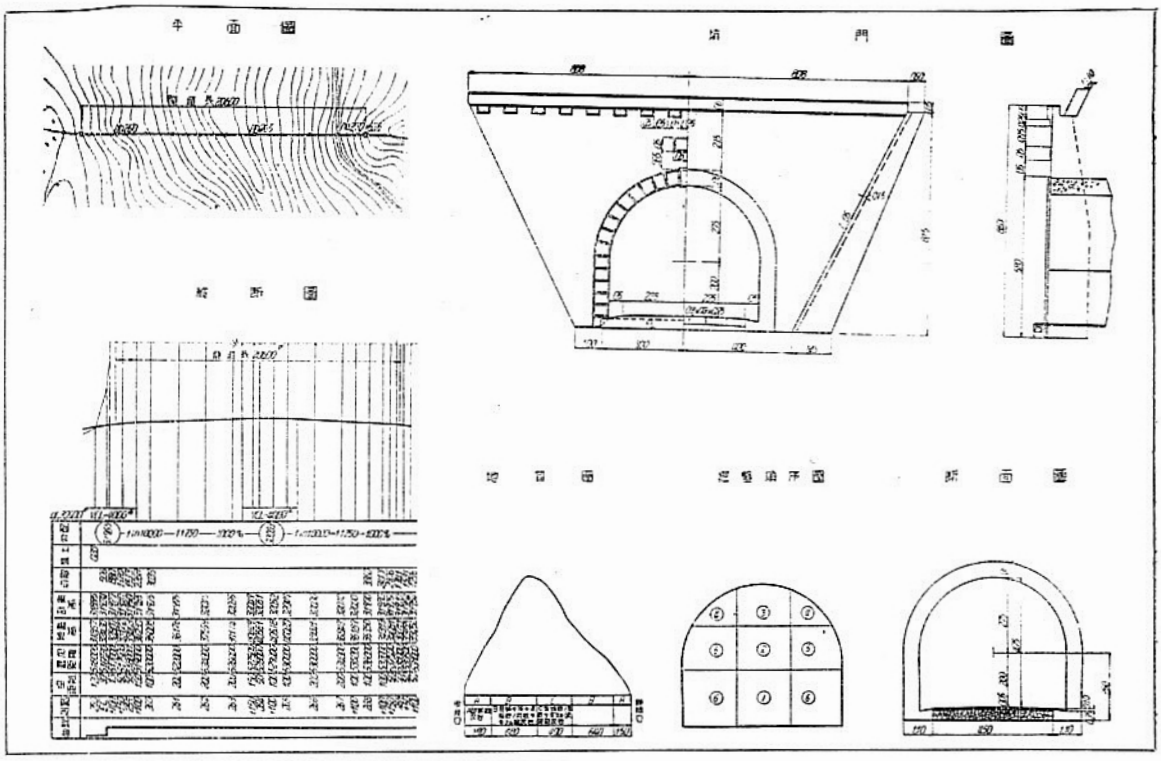
所在地	滋賀縣高島郡海津村地內		路線名	指定府縣道海津木之本線	工期	起工	昭和 10 年 2 月 1 日	
延長	221.00 m		線形	直線		掘鑿	導坑 130 日間 切擴 283 〃	
縱斷勾配	0.667 %		有效幅員	5.50 m		坑門工	— 日間	
高	有效高	4.50 m	掘鑿斷面	導坑	4.6 m²		竣工	昭和 10 年 12 月 30 日
	中央高	5.00 〃		切擴	30.4 〃		巻立工	— 日間
地質	花崗岩		工事執行方法	請負工事			鋪裝	— 日間

巻立方法材料及厚	穹拱	1：2：4コンクリートブロック3.30×0.30×0.15m 延長 59.0m 二枚巻厚 0.45m 延長 162.0m 一枚巻厚 30cm
	側壁	1：3：6 場所打コンクリート
路面工種及厚		上層 1：1.5：3 コンクリート厚 7cm 下層 1：3：6 コンクリート厚 11cm
排水設備及防水工		深 30cm 幅 30cm の側溝を兩側に設く
照明設備		—

掘鑿	主要機械			—
	施工中の換氣排水設備			—
	掘鑿勞力	導坑	火藥使用部分	4.0人/m³（一交代）
			火藥使用せざる部分	— 〃（— 〃）
		切擴	火藥使用部分	1.8人/m³（一交代）
			火藥使用せざる部分	— 〃（— 〃）
	火藥使用量	導坑		0.75kg/爆破m³
		切擴		0.26 〃
	穿孔長	導坑		0.70 m/爆破m³
		切擴		0.50 〃

工事費			金額(圓)	單價
總工費			53 425.0	241.7 (圓/m)
掘鑿費	導坑	火藥使用部分	6 129.0	6.0(圓/m³)
		火藥使用せざる部分	—	— 〃
	切擴	火藥使用部分	18 741.0	2.8(圓/m³)
		火藥使用せざる部分	—	— 〃
支保工費			5 834.0	0.8 (圓/掘鑿m³)
巻立費			18 107.0	5.5 (圓/巻立m³)
坑門費			929.0	929.0 (圓/箇)
路面費			3 685.0	3.0(圓/m²)
其の他			—	—

框木隧道



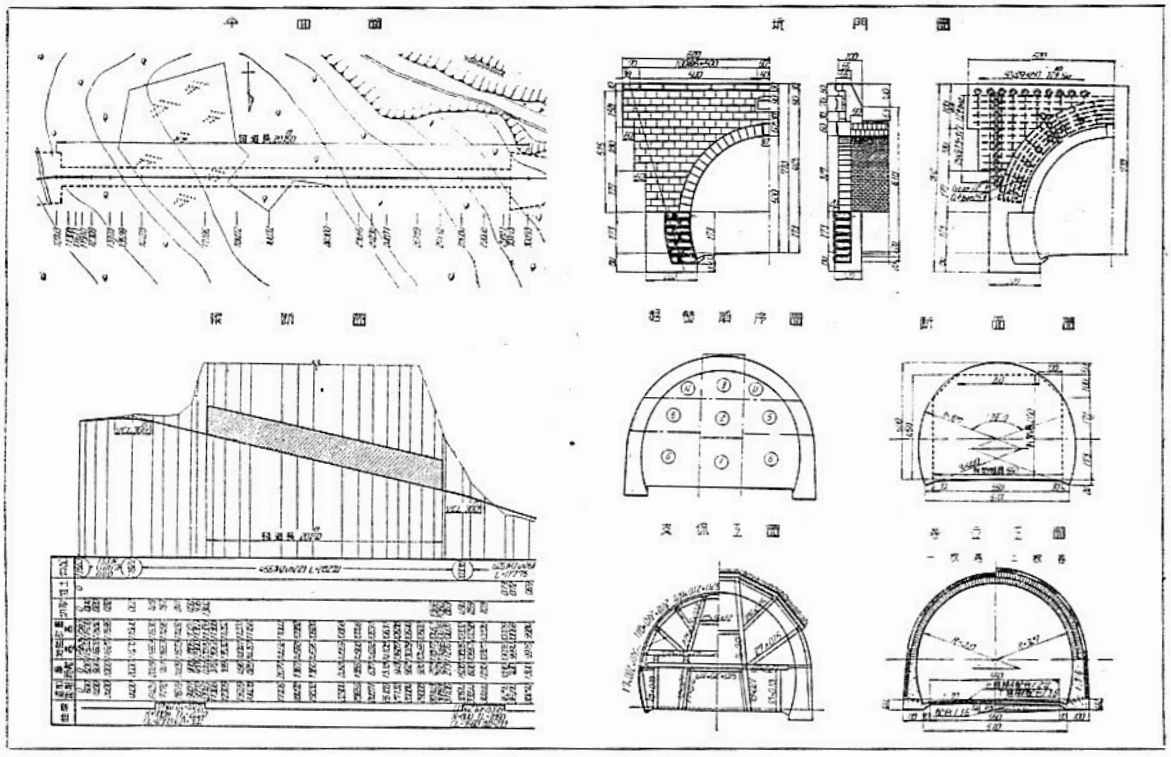
所在地	山梨縣南巨摩郡豐岡村		路線名	府道縣甲府靜岡線		工期	起工	昭和 6 年 12 月 15 日
延長	206.00 m		線形	直線			掘鑿	導坑 150 日間 切擴 160 〃
縱斷勾配	(舊細則) 1.00 %		有效幅員	5.00 m			坑門工	25 日間
高	有效高	4.00 m	掘鑿斷面	導坑	5.00 m²		竣工	昭和 7 年 6 月 30 日
	中央高	4.75 〃		切擴	73.61 〃		卷立工	55 日間
地質	凝灰岩		工事執行方法	請負工事			鋪裝	6 日間

卷立方法材料及厚	穹排	現場打コンクリート 1：3：6　延長 366.m 厚 60cm　〃 36.2〃 〃 20 〃　長 130.0m 厚 30cm
	側壁	同上
路面工種及厚		鋪裝コンクリート 1：2：4 厚 10cm　下均し栗石基礎コンクリート 1：3：6 厚 3.0cm
排水設備及防水工		L型側溝
照明設備		60 W電燈 30m 間隔

掘鑿	主要機械			—
	施工中の換氣排水設備			自然流下
	掘鑿勞力	導坑	火藥使用部分	2.7人/m³ (2 交代)
			火藥使用せざる部分	— 〃 (— 〃)
		切擴	火藥使用部分	1.2人/m³ (2 交代)
			火藥使用せざる部分	— 〃 (— 〃)
	火藥使用量	導坑		0.95kg/爆破m³
		切擴		0.35 〃
	穿孔長	導坑		4.80 m/爆破m³
		切擴		3.20 〃

工事費			金額(圓)	單價
總工費			58 258.0	282.8 (圓/m)
掘鑿費	導坑	火藥使用部分	8 137.0	8.8 (圓/m³)
		火藥使用せざる部分	—	— 〃
	切擴	火藥使用部分	14 842.0	2.9 (圓/m³)
		火藥使用せざる部分	—	— 〃
支保工費			4 056.0	0.7 (圓/掘鑿m³)
卷立費			20 208.0	7.6 (圓/卷立m²)
坑門費			5 007.0	2 503.5 (圓/個)
路面費			2 334.0	2.5 (圓/m²)
其の他			3 674.0	—

湯殿山隧道



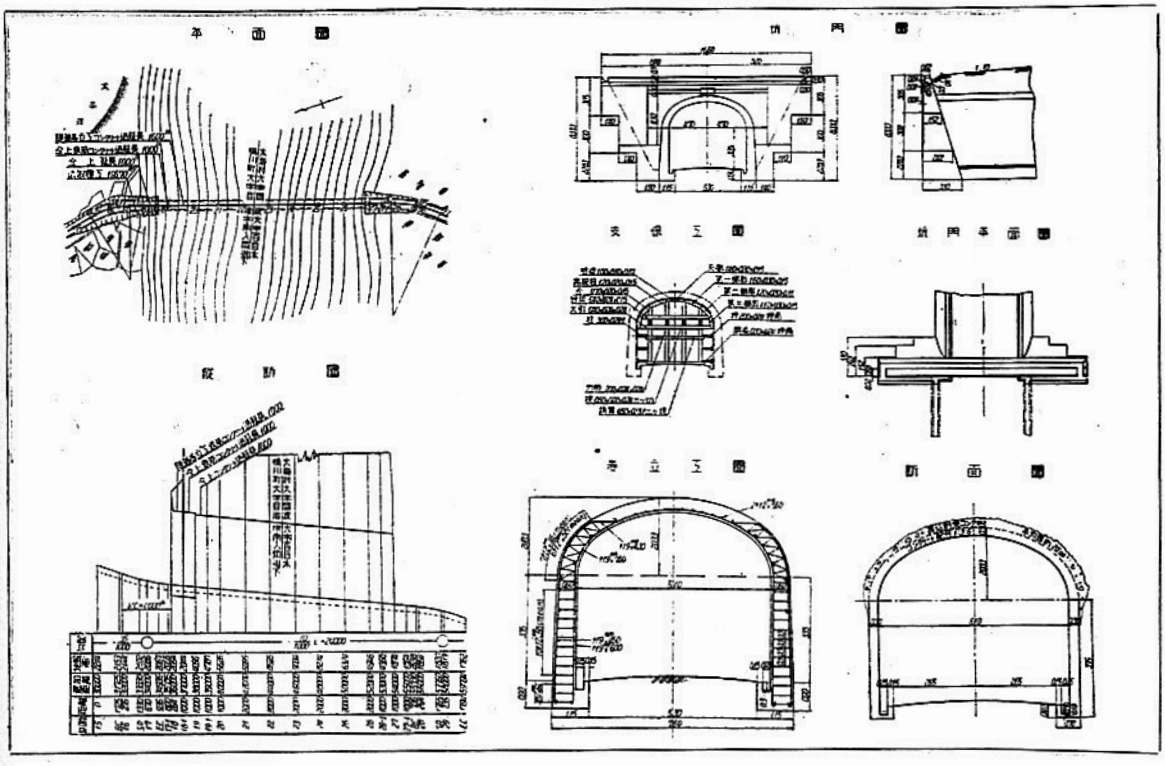
所在地		群馬縣群馬郡堂田町	路線名		府縣道高崎草津線	工期	起工	昭和 12 年 1 月 8 日
延長		201.50 m	線形		直線		掘鑿	導坑 55 日間 切擴 200 〃
縱斷勾配		4.55 %	有效幅員		5.50 m		坑門工	60 日間
高	有效高	4.50 m	掘鑿斷面	導坑	3.78 m²		竣工	昭和 13 年 7 月 2 日
	中央高	5.00 〃		切擴	35.31 〃		巻立工	90 日間
地質		砂礫質灰岩 正斷層 2 個所 湧水中央に於て僅少	工事執行方法		請負工事		鋪裝	40 日間

巻立方法材料及厚	穹拱	二枚巻 コンクリートブロック 0.25×0.20×1.10m 配合 1:2:4 延長 179.5m 巻方長 0.15m 砂礫填充 一枚巻 〃 0.30×0.20×0.10m 〃 22.0m 〃
	側壁	二枚巻 場所打コンクリート 高 1.73m 上幅 0.50m 下幅 1.00m 配合 1:3:6 一枚巻 〃 〃 1.73m 〃 0.30m 〃 0.88m 〃
路面工種及厚		上層 0.05m 配合 1:2:4 下層 0.10m 配合 1:3:6
排水設備及防水工		排水孔管 二枚巻 0.85 一枚巻 0.65 內徑 0.10 2m 間隔

照明設備			60W 電燃 4 個 40m 間隔	
掘鑿	主要機械		—	
	施工中の換氣排水設備		片押縱斷勾配	
	掘鑿勞力	導坑 火藥使用部分	先山 3 後山 3人/m³ (2 交代)	
		導坑 火藥使用せざる部分	先山 3 後山 4 〃 (2 〃)	
		切擴 火藥使用部分	先山 5 後山 4人/m³ (2 交代)	
		切擴 火藥使用せざる部分	先山 3 後山 4 〃 (2 〃)	
	火藥使用量	導坑	9.0 kg/爆破m³	
		切擴	7.5 〃	
	穿孔長	導坑	0.60m/爆破m³	
		切擴	0.37 〃	

工事費			金額(圓)	單價
總工費			77 729.0	385.8 (圓/m)
掘鑿費	導坑	火藥使用部分	1 736.0	2.3 (圓/m³)
		火藥使用せざる部分	479.0	0.6 〃
	切擴	藥使使用部分	14 458.0	2.0 (圓/m³)
		火藥使用せざる部分	2 962.0	0.4 〃
支保工費			9 171.0	1.4 (圓/掘鑿m³)
巻立費			40 901.0	20.5 (圓/巻立m³)
坑門費			4 006.0	— (圓/個m²)
路面費			3 354.0	3.0 (圓/m²)
其の他			662.0	—

貝渚隧道

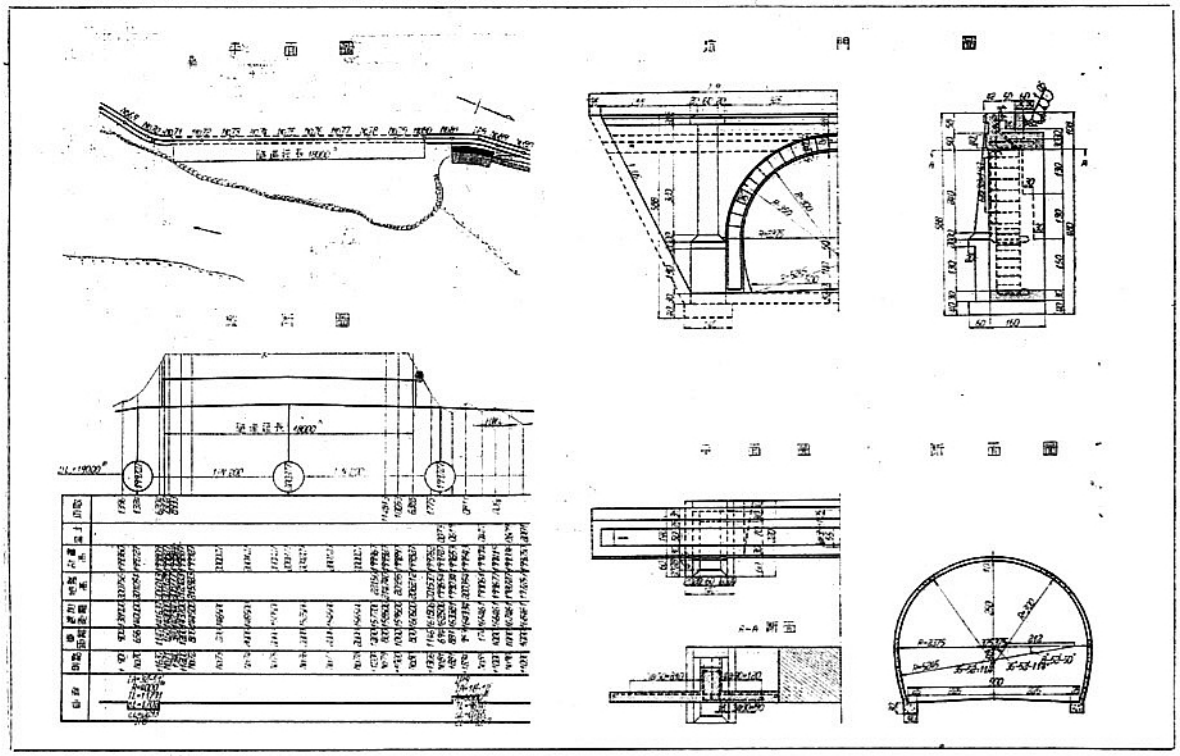


所在地		千葉縣安房郡鴨川町字貝渚太海村岡波太	路線名		指定府縣道十五號線	工期	起工	昭和 11 年 5 月 4 日	
延長		180.00 m	線形		直線		掘鑿	導坑 86 日間 切擴 150 〃	
縦断勾配		1.0 %	有效幅員		5.60 m		坑門工	7 日間	
高	有效高	4.65 m	掘鑿斷面	導坑	8.1 m²		竣工	昭和 12 年 6 月 30 日	
	中央高	5.24 〃		切擴	26.4 〃		巻立工	142 日間	
地質		蛇紋岩	工事執行方法		請負工事		鋪装	— 日間	

巻立方法材料及厚	寫拱	コンクリート（1：3：6）厚 30cm	コンクリート（1：2：4）厚上幅 45cm 下幅 60cm
	側壁	同上	同上 60cm 75cm
路面工種及厚		碎石道	
排水設備及防水工		—	
照明設備		—	

掘鑿	主要機械			—	工事費			金額(圓)	單價
	施工中の換氣排水設備			—		總工費		44 337.0	246.3 (圓/m)
	掘鑿勞力	導坑	火藥使用部分	— 人/m³ (—交代)		掘鑿費	導坑 火藥使用部分	6 197.0	4.5 (圓/m³)
			火藥使用せざる部分	— 〃 (— 〃)			導坑 火藥使用せざる部分	—	— 〃
		切擴	火藥使用部分	— 人/m³ (—交代)			切擴 火藥使用部分	10 304.0	2.0 (圓/m³)
			火藥使用せざる部分	— 〃 (— 〃)			切擴 火藥使用せざる部分	—	— 〃
	火藥使用量	導坑		—kg/爆破m³		支保工費		450.0	1.3 (圓/掘鑿m³)
		切擴		— 〃		巻立費		23 662.0	7.3 (圓/巻立m²)
	穿孔長	導坑		—m/爆破m³		坑門費		1 818.0	909.0 (圓/個)
		切擴		— 〃		路面費		93.0	0.009 (圓/m²)
						其の他		1 813.0	—

旗山六龜道第四號隧道



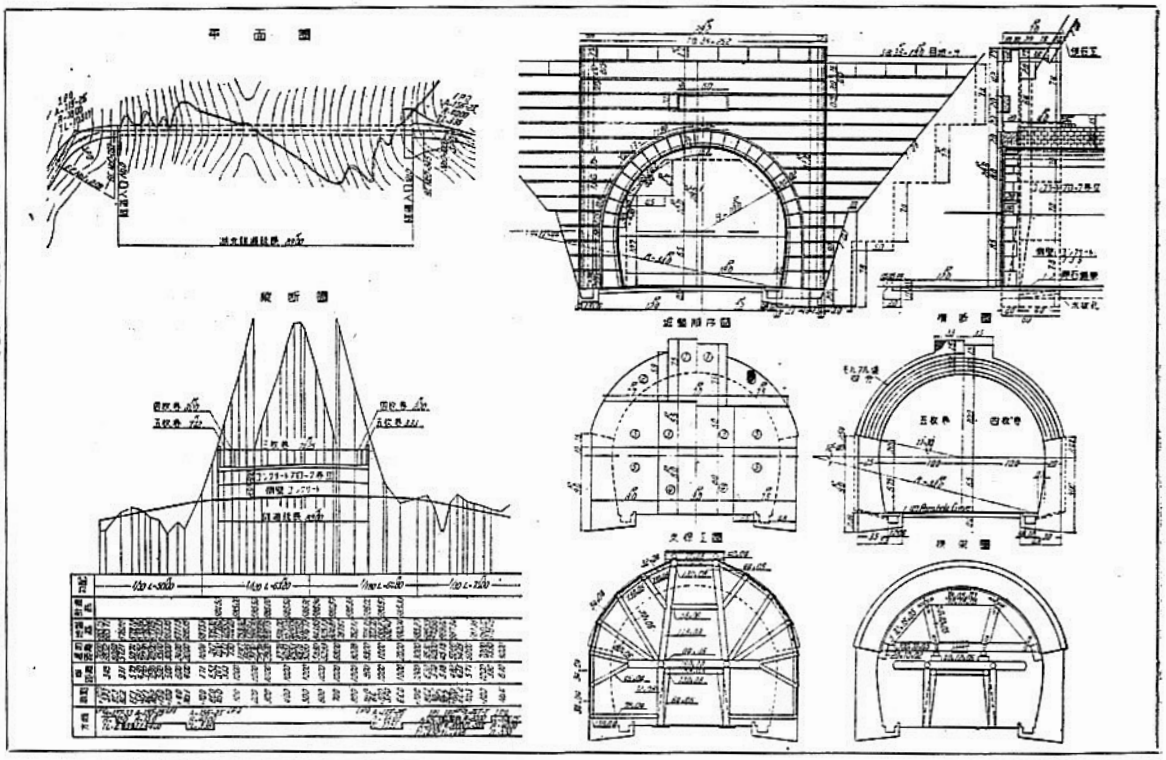
所在地	高雄州旗山郡六龜庄	路線名	指定道路旗山六龜道	工期	起工	昭和 11 年 1 月 19 日
延長	180.00 m	線形	直線		掘鑿	導坑 120 日間 / 切擴 120 〃
縱斷勾配	0.5 %	有效幅員	5.00 m		坑門工	22 日間
高 有效高	3.3 m	掘鑿斷面 導坑	3.250 m²		竣工	昭和 11 年 9 月 7 日
高 中央高	4.0 〃	掘鑿斷面 切擴	17.477 〃		卷立工	72 日間
地質	礫岩	工事執行方法	請負工事		鋪裝	— 日間

卷立方法材料及厚	穹拱	配合 1：3：1 コンクリート 厚 12cm
	側壁	同上
路面工種及厚		—
排水設備及防水工		—
照明設備		—

掘鑿	主要機械			—
	施工中の換氣排水設備			—
	掘鑿勞力	導坑	火藥使用部分	2人/m³ (2 交代)
			火藥使用せざる部分	— 〃 (— 〃)
		切擴	火藥使用部分	1人/m³ (2 交代)
			火藥使用せざる部分	— 〃 (— 〃)
	火藥使用量	導坑		0.340kg/爆破m³
		切擴		0.190 〃
	穿孔長	導坑		— m/爆破m³
		切擴		— 〃

工事費			金額(圓)	單價
總工費			26 861.7	149.2 (圓/m)
掘鑿費	導坑	火藥使用部分	18 756.1	5.0 (圓/m³)
		火藥使用せざる部分		
	切擴	火藥使用部分		
		火藥使用せざる部分		
支保工費			2 528.5	0.7 (圓/掘鑿m³)
卷立費			3 142.8	1.6 (圓/卷立m²)
坑門費			2 434.3	1 217.2 (圓/個)
路面費			—	— (圓/m²)
其の他			—	—

湖北隧道



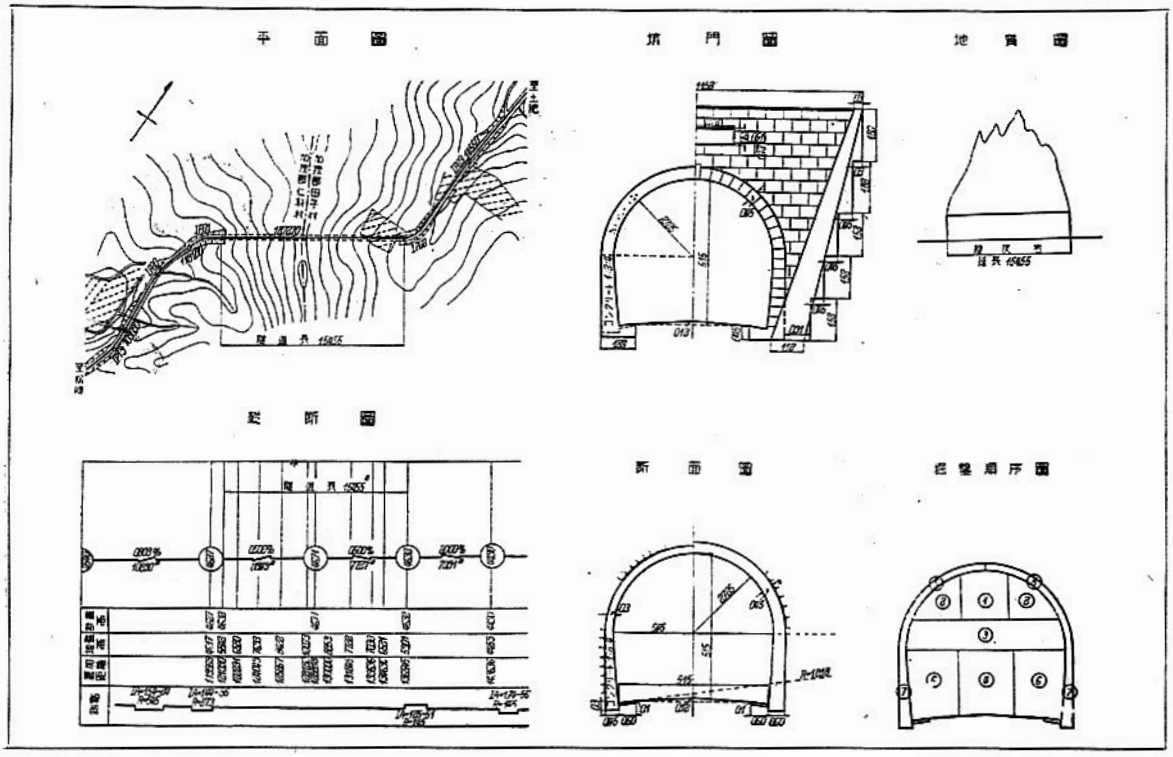
所在地		滋賀縣伊香郡永原村地內	路線名		指定府縣道海津木之本線	工期	起工	昭和 8 年 5 月 10 日
延長		163.00 m	線形		直線		掘鑿	導坑 133 日間 切擴 263 〃
縱斷勾配		0.556 及 0.833 %	有效幅員		5.50 m		坑門工	—日間
高	有效高	4.50 m	掘鑿斷面	導坑	4.80 m²		竣工	昭和 9 年 6 月 20 日
	中央高	5.00 〃		切擴	32.60 〃		卷立工	—日間
地質		秩父古成層	工事執行方法		請負工事		鋪裝	—日間

卷立方法材料及厚	穹拱	コンクリートブロック配合 1：2.5：5 0.15×0.15×0.24 五枚卷 延長 20.00m 厚 0.77m 四枚卷 延長 8.00m 厚 0.61m 三枚卷 延長 135.00m 厚 0.45m
	側壁	場所打コンクリート配合 1：3：6
路面工種及厚		下層配合 1：3：6 コンクリート 厚0.12m 上層 1：2 膠石鋪裝 厚 0.045 m
排水設備及防水工		深 0.27m 幅 0.36m の側溝を兩側に設く
照明設備		—

掘鑿	主要機械			—
	施工中の換氣排水設備			—
	掘鑿勞力	導坑	火藥使用部分	3.1人/m³ (一交代)
			火藥使用せざる部分	〃 (〃)
		切擴	火藥使用部分	1.2人/m³ (一交代)
			火藥使用せざる部分	〃 (〃)
	火藥使用量	導坑		0.36kg/爆破m³
		切擴		0.12 〃
	穿孔長	導坑		0.70m/爆破m³
		切擴		0.50 〃

工事費			金額(圓)	單價
總工費			51 960.0	318.8 (圓/m)
掘鑿費	導坑	火藥使用部分	3 595.0	4.6 (圓/m³)
		火藥使用せざる部分	—	— 〃
	切擴	火藥使用部分	9 739.0	1.8 (圓/m³)
		火藥使用せざる部分	—	— 〃
支保工費			3 665.0	6.0 (圓/掘鑿m³)
卷立費			25 893.0	10.1 (圓/卷立m²)
坑門費			6 084.0	3042.0 (圓/個)
路面費			2 984.0	3.3 (圓/m²)
其の他			—	—

持越隧道

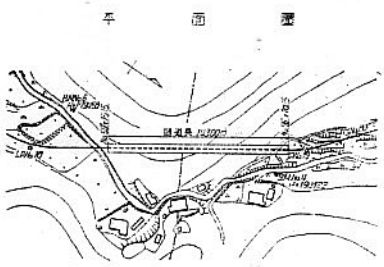


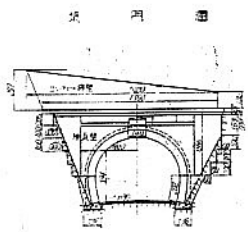
所在地	靜岡縣賀茂郡仁科村田子村界		路線名	府縣道松崎土肥線	工期	起工	昭和 2 年 8 月 6 日	
延長	154.55 m		線形	直線		掘鑿	導坑 — 日間 切擴 — 〃	
縱斷勾配	1.00 %		有效幅員	5.15 m		坑門工	— 日間	
高 有效高	3.80 m		掘鑿斷面	導坑 3.3 m²		竣工	昭和 4 年 1 月 19 日	
高 中央高	5.03 〃			切擴 21.2 〃		卷立工	— 日間	
地質	凝灰岩 湧水斷層なし		工事執行方法	請負工事		鋪裝	— 日間	
卷立方法材料及厚	穹拂	場所打コンクリート配合 1：2：4		坑門より 18.2m 兩側 厚 0.45 中央部分長 118.15m 厚 0.30				
	側壁	場所打コンクリート配合 1：3：6		坑門より 18.2m 兩側分 厚上部 0.45m 下部 0.60m 中央部分長 118.15m 厚上部 0.30m 下部 0.45m				
路面工種及厚	砂利道							
排水設備及防水工	—							
照明設備	—							

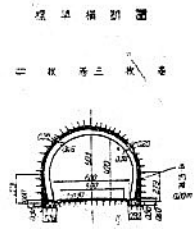
掘鑿				
主要機械			—	
施工中の換氣排水設備			—	
掘鑿勞力	導坑	火藥使用部分	— 人/m³ (一交代)	
		火藥使用せざる部分	— 〃 (— 〃)	
	切擴	火藥使用部分	— 人/m³ (一交代)	
		火藥使用せざる部分	— 〃 (— 〃)	
火藥使用量	導坑		— kg/堀破m³	
	切擴		— 〃	
穿孔長	導坑		— m/堀破m³	
	切擴		— 〃	

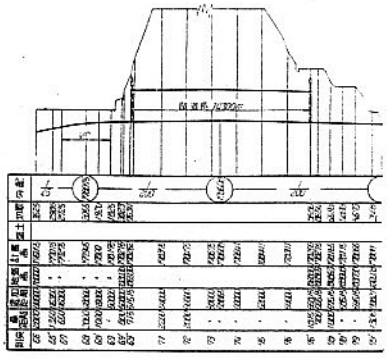
工事費			金額(圓)	單價
總工費			57 269.0	37.1 (圓/m)
掘鑿費	導坑	火藥使用部分	6 740.0	13.0 (圓/m³)
		火藥使用せざる部分	—	— 〃
	切擴	火藥使用部分	19 398.0	3.9 (圓/m³)
		火藥使用せざる部分	—	— 〃
支保工費			4 200.0	1.1 (圓/掘鑿m³)
卷立費			22 620.0	10.4 (圓/卷立m²)
坑門費			3 392.0	1 696.0 (圓/個)
路面費			—	— (圓/m²)
其の他			919.0	—

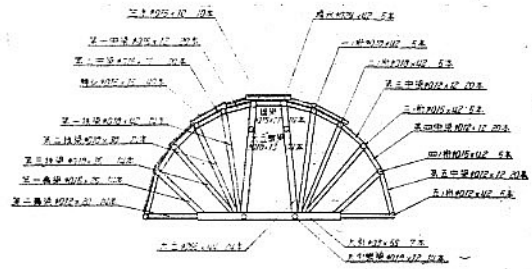
金邊隧道











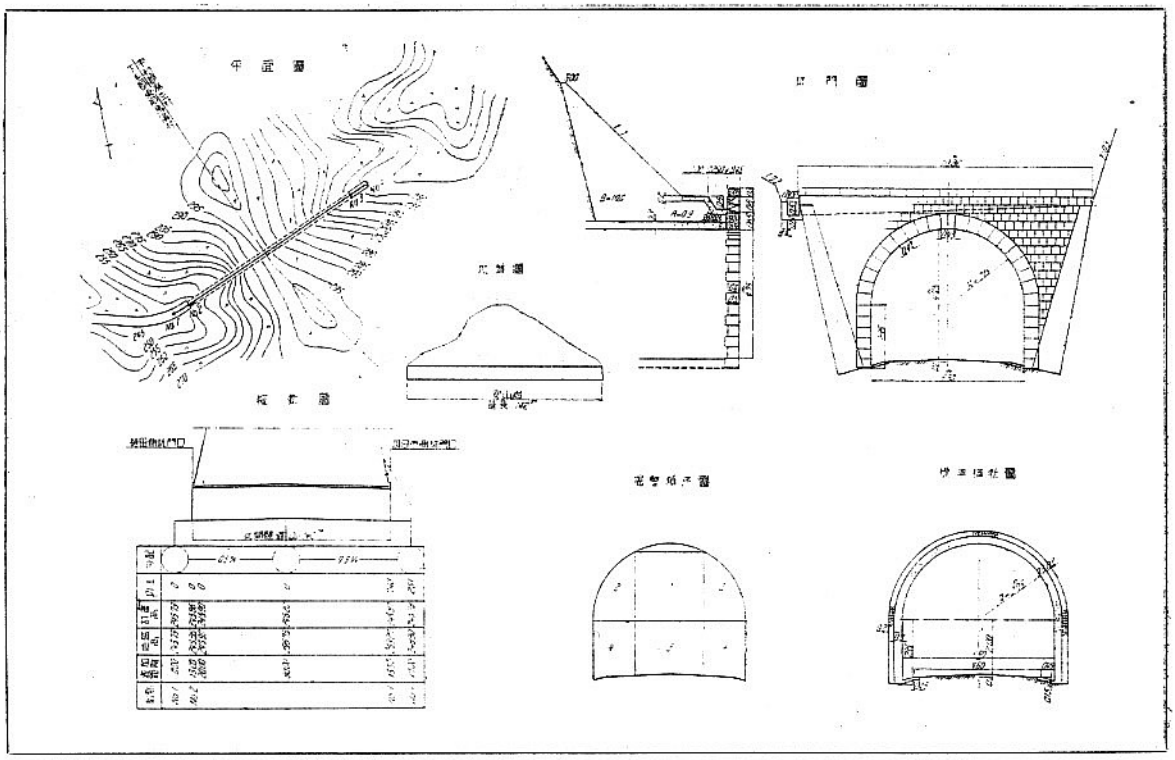
所在地	福岡縣田川郡採銅所村金救郡東谷村界(金邊峠)	路線名	指定府縣道香春小倉線	工期	起工	昭和'4年7月15日	
延長	143.00 m	線形	直線		掘鑿	導坑 一日間 切擴 — 〃	
縱斷勾配	中央より兩坑門に下り 0.5 %	有效幅員	5.00 m		坑門工	— 日間	
高 有效高	(舊細則) 4.7 m	掘鑿斷面 導坑	4.0 m²		竣工	昭和 5 年 11 月 13 日	
高 中央高	5.03 〃	掘鑿斷面 切擴	35.2 m²		卷立工	— 日間	
地質	粘板岩 湧水あり	工事執行方法	請負工事		鋪裝	— 日間	

卷立方法材料及厚	穹排	全長煉瓦卷 11.0m 煉瓦卷 10 枚卷　五枚卷 24.3m 三枚卷 53.2m 四 〃 54.5m　煉瓦寸法 0.227×0.109×0.06m 全長に亘りて裏詰栗石厚 0.20m
	側壁	全長煉瓦卷 煉瓦三枚卷 72.0m　四枚卷 50.0m 五 〃 21.0m　裏詰栗石入 1:3:6 コンクリート(配合0.7:0.5) 平均厚 0.30m
路面工種及厚		コンクリート鋪裝 上層 7cm 配合 1:1.5:3 下層 7cm 配合 1:3½:6
排水設備及防水工		排水孔徑 4.50cm 間隔普通 5.00m 湧水個所 1.4～2.0m 防水工なし
照明設備		—

掘鑿	主要機械		—	
	施工中の換氣排水設備		—	
	掘鑿勞力	導坑 火藥使用部分	2.6人/m³ (一交代)	
		導坑 火藥使用せざる部分	— 〃 (— 〃)	
		切擴 火藥使用部分	1.7人/m³ (一交代)	
		切擴 火藥使用せざる部分	— 〃 (— 〃)	
	火藥使用量	導坑	0.315kg/爆破m³	
		切擴	0.270 〃	
	穿孔長	導坑	1.3 m/爆破m³	
		切擴	1.0 〃	

工事費			金額(圓)	單價
總工費			63 961.0	447.3 (圓/m)
掘鑿費	導坑	火藥使用部分	2 731.0	4.8 (圓/m³)
		火藥使用せざる部分	—	— 〃
	切擴	火藥使用部分	23 050.0	4.5 (圓/m³)
		火藥使用せざる部分	—	— 〃
支保工費			7 160.0	1.3(圓/掘鑿m³)
卷立費			27 417.0	12.8 (圓/卷立m²)
坑門費			1 980.0	990.0 (圓/個)
路面費			1 574.0	2.20(圓/m²)
其の他			49.0	—

櫻　隧　道

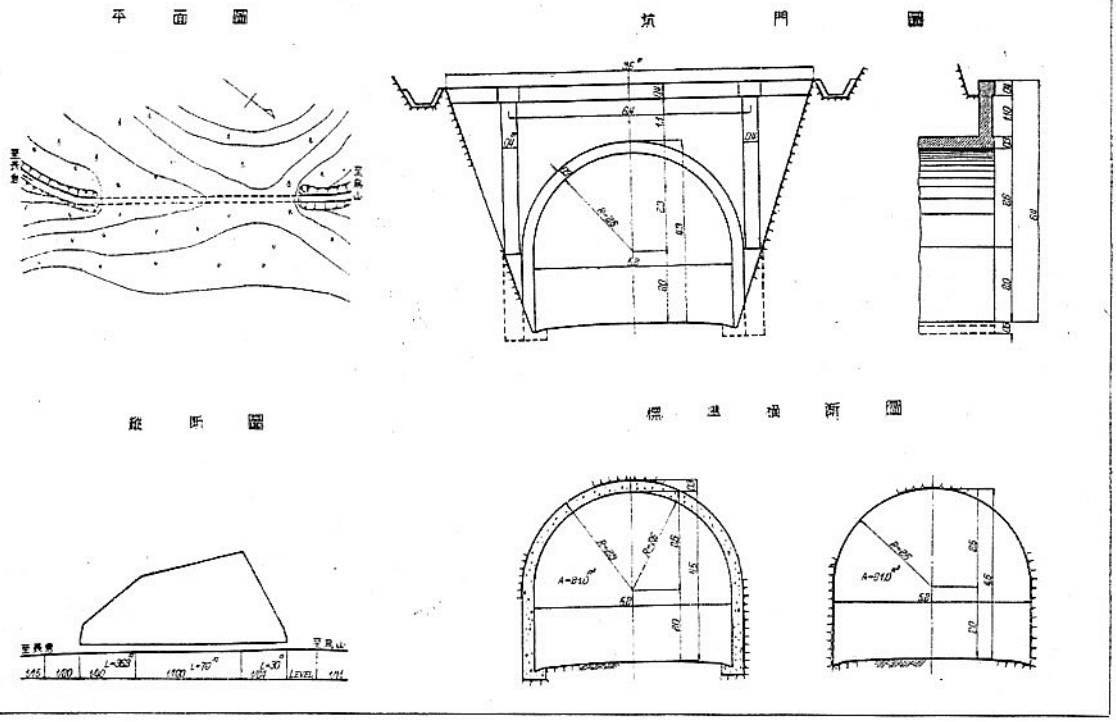


所在地	大分縣下毛郡東耶馬溪村字佐部藏生村界(櫻峠)	路線名	府縣道樋田四日市線	工期	起工	昭和 8 年 7 月 15 日		
延長	142.00 m	線形	直線		掘鑿	導坑 97 日間 切擴 177 〃		
縱斷勾配	0.5 %	有效幅員	5.50 m		坑門工	30 日間		
高 有效高	4.00 m	掘鑿斷面 導坑	4.00 m²		竣工	昭和 9 年 3 月 25 日		
高 中央高	4.75 〃	掘鑿斷面 切擴	26.70 〃		卷立工	97 日間		
地質	安山岩　湧水なし	工事執行方法	大分縣直轄工事		鋪裝	— 日間		
卷立方法材料及厚	穹拱	場所打コンクリート　配合 1：3：6　厚 30cm						
	側壁	同　上						
路面工種及厚	碎石撒布							
排水設備及防水工	L型コンクリート側溝　防水工竝に排水工なし							
照明設備	—							

掘鑿				
主要機械		—		
施工中の換氣排水設備		—		
掘鑿勞力	導坑	火藥使用部分	3.3人/m³ (3 交代)	
		火藥使用せざる部分	— 〃 (— 〃)	
	切擴	火藥使用部分	2.0人/m³ (3 交代)	
		火藥使用せざる部分	— 〃 (— 〃)	
火藥使用量	導坑		0.50kg/爆破m³	
	切擴		0.31 〃	
穿孔長	導坑		0.50 m/爆破m³	
	切擴		0.31 〃	

工事費			金額(圓)	單價
總工費			30 000.0	211.3 (圓/m)
掘鑿費	導坑	火藥使用部分	3 207.0	6.0 (圓/m³)
		火藥使用せざる部分	—	— 〃
	切擴	火藥使用部分	13 947.0	3.9 (圓/m³)
		火藥使用せざる部分	—	— 〃
支保工費			2 130.0	0.5 (圓/掘鑿m³)
卷立費			7 969.0	3.6 (圓/卷立m²)
坑門費			435.0	217.5 (圓/個)
路面費			132.0	0.2 (圓/m²)
其の他			2 180.0	—

八里隧道



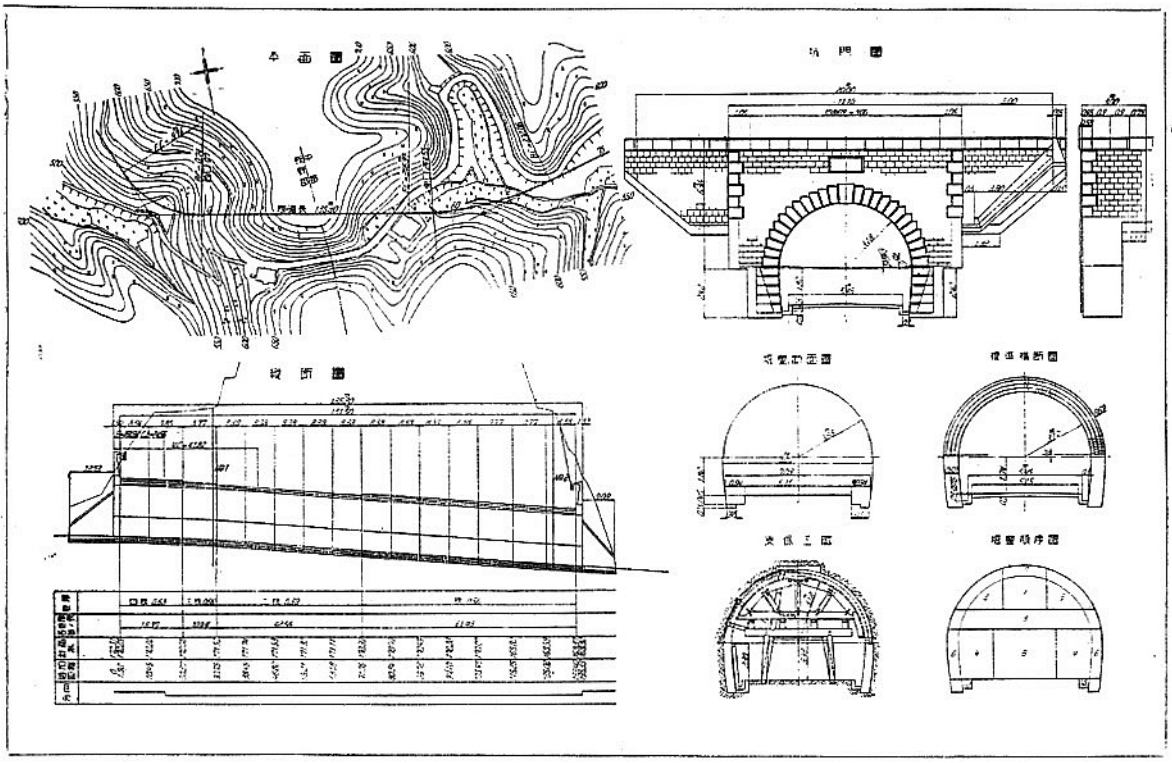
所在地	茨城縣那珂郡八里村大字油河內		路線名	府縣道長倉烏山線		工期	起工	昭和 3 年 6 月 20 日
延長	136.30 m		線形	直線			掘鑿	導坑 54 日間 切擴 83 〃
縱斷勾配	4.2% 1.0% 2.5%		有效幅員	5.00 m			坑門工	— 日間
高	有效高	(新細則) 3.6 m	掘鑿斷面	導坑	4.4 m²		竣工	昭和 4 年 3 月 15 日
	中央高	4.6 〃		切擴	16.6 〃		巻立工	51(坑門工を含む)日間
地質	火山岩 湧水少量		工事執行方法	請負工事			鋪裝	— 日間

巻立方法材料及厚	穹拱	場所打コンクリート配合 1：3：6 延長 25.7m 拱長 8.64m 厚平均 30cm
	側壁	同上
路面工種及厚		砂利道 厚 6cm
排水設備及防水工		L型側溝により湧水其の他を排水す
照明設備		—

掘鑿	主要機械			—
	施工中の換氣排水設備			自然通風及人工水路による自然排水
	掘鑿勞力	導坑	火藥使用部分	1.33人/m³ (—交代)
			火藥使用せざる部分	— 〃 (— 〃)
		切擴	火藥使用部分	0.76人/m³ (—交代)
			火藥使用せざる部分	— 〃 (— 〃)
	火藥使用量	導坑		1.88kg/爆破m³
		切擴		0.94 〃
	穿孔長	導坑		3.00 m/爆破m³
		切擴		1.67 〃

工事費			金額(圓)	單價
總工費			24 808.0	182.0 (圓/m)
掘鑿費	導坑	火藥使用部分	6 453.0	10.8 (圓/m³)
		火藥使用せざる部分	—	— 〃
	切擴	火藥使用部分	15 502.0	5.3 (圓/m³)
		火藥使用せざる部分	—	— 〃
支保工費			150.0	0.5 (圓/掘鑿m³)
巻立費			1 050.0	3.4 (圓/巻立m³)
坑門費			1 149.0	574.5 (圓/個)
路面費			361.0	0.4 (圓/m²)
其の他			143.0	—

比治山隧道



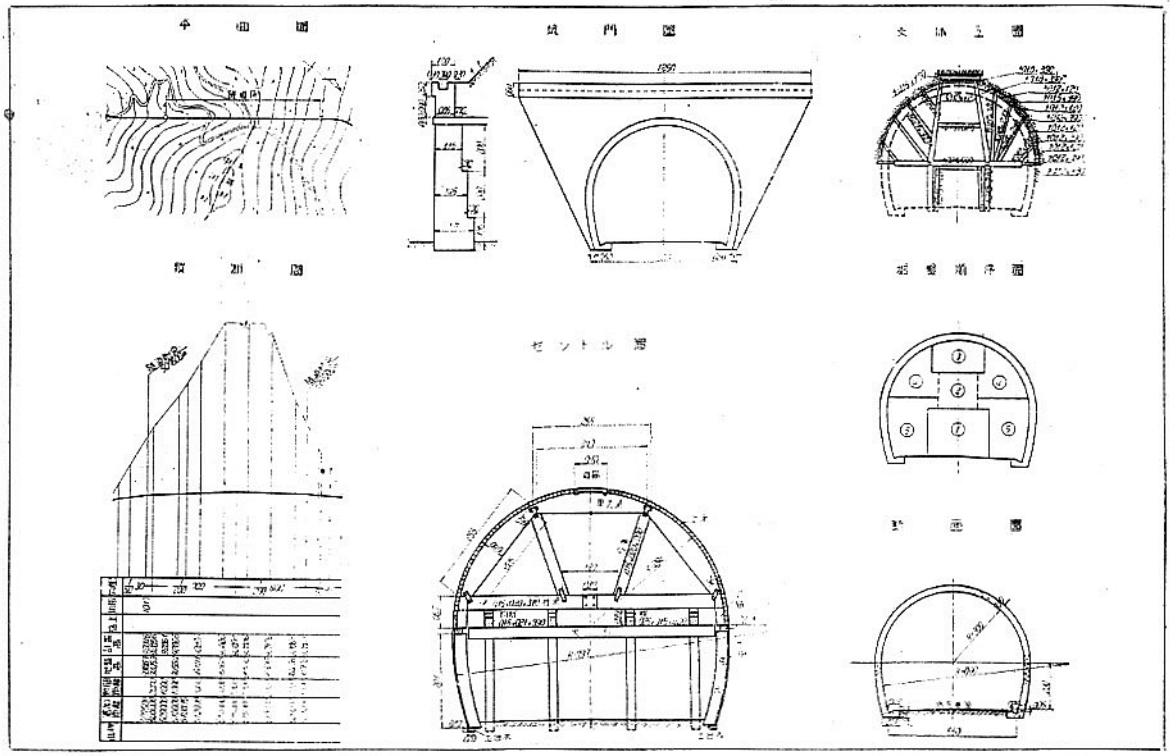
所在地	京都府中郡五箇村熊野郡上佐濃村界(比治山峠)		路線名	指定府縣道宮津久美濱線		工期	起工	昭和 4 年 12 月 29 日	
延長	135.30 m		線形	延長 135.30m の內 14.5m 曲線 中心線屈曲半徑 82.0m			掘鑿	導坑 122 日間 切擴 92 〃	
縱斷勾配	2.50 %		有效幅員	5.45 m			坑門工	— 日間	
高	有效高	4.50 m	掘鑿斷面	導坑	5.14 m²		竣工	昭和 5 年 12 月 22 日	
	中央高	4.92 〃		切擴	28.58 〃		巻立工	91 日間	
地質	有層硬質イクリ土褐色粘土混りイクリ質但し深部に於て火成岩花		工事執行方法	請負工事			鋪裝	— 日間	

巻立方法材料及厚	穹拱	配合 1:2.5:5 長 0.267m 幅 0.115m 厚 0.176m ブロック積築工 二〜四枚巻 內譯二枚巻 33.50m 二·五枚巻 8.40m 三枚巻 71.20m 四枚巻 18.40m
	側壁	配合 1:3:6 高 2.52m 厚 0.376m 0.564m 0.664m 0.690m 33.50m 8.40 m 71.20m 18.40m
路面工種及厚	砂利道 上敷碎石砂利 厚 0.055m	
排水設備及防水工	徑 63mm 瓦斯管を 2.40m 間隔に兩側壁下部に埋込み裏よりの湧水を側溝に排水す	
照明設備	—	

掘鑿	主要機械		—	
	施工中の換氣排水設備		—	
	掘鑿勞力	導坑 火藥使用部分	4.0人/m³ (一交代)	
		導坑 火藥使用せざる部分	1.5 〃 (— 〃)	
		切擴 火藥使用部分	2.0人/m³ (一交代)	
		切擴 火藥使用せざる部分	0.9 〃 (— 〃)	
	火藥使用量	導坑	3.60kg/爆破m³	
		切擴	1.88 〃	
	穿孔長	導坑	5.0 m/爆破m³	
		切擴	5.0 〃	

工事費			金額(圓)	單價
總工費			81 092.0	599.4 (圓/m)
掘鑿費	導坑	火藥使用部分	6 385.0	9.2 (圓/m³)
		火藥使用せざる部分	—	— 〃
	切擴	火藥使用部分	23 989.0	5.8 (圓/m³)
		火藥使用せざる部分	—	— 〃
支保工費			3 341.0	0.5 (圓/掘鑿m³)
巻立費			31 310.0	15.4 (圓/巻立m²)
坑門費			15 891.0	15 891.6 (圓/個)
路面費			176.0	0.2 (圓/m²)
其の他			—	—

風越隧道



所在地	長野縣東筑摩郡永城村字亂橋中川村字鹽人界		路線名	府縣道西條淺間線	工期	起工	昭和 7 年 8 月 15 日	
延長	135.00 m		線形	直線		掘鑿	導坑 40 日間 切擴 40 〃	
縱斷勾配	中央に於て起終點に向ひ下り 0.5 %		有效幅員	5.50 m		坑門工	30 日間	
高	有效高	(舊細則) 3.5 m	掘鑿斷面	導坑 5.13 m²		竣工	昭和 8 年 3 月 31 日	
	中央高	5.0 〃		切擴 25.27 〃		卷立工	90 日間	
地質	第三紀層中(一部輝石安山岩)		工事執行方法	長野縣直轄工事		鋪裝	— 日間	

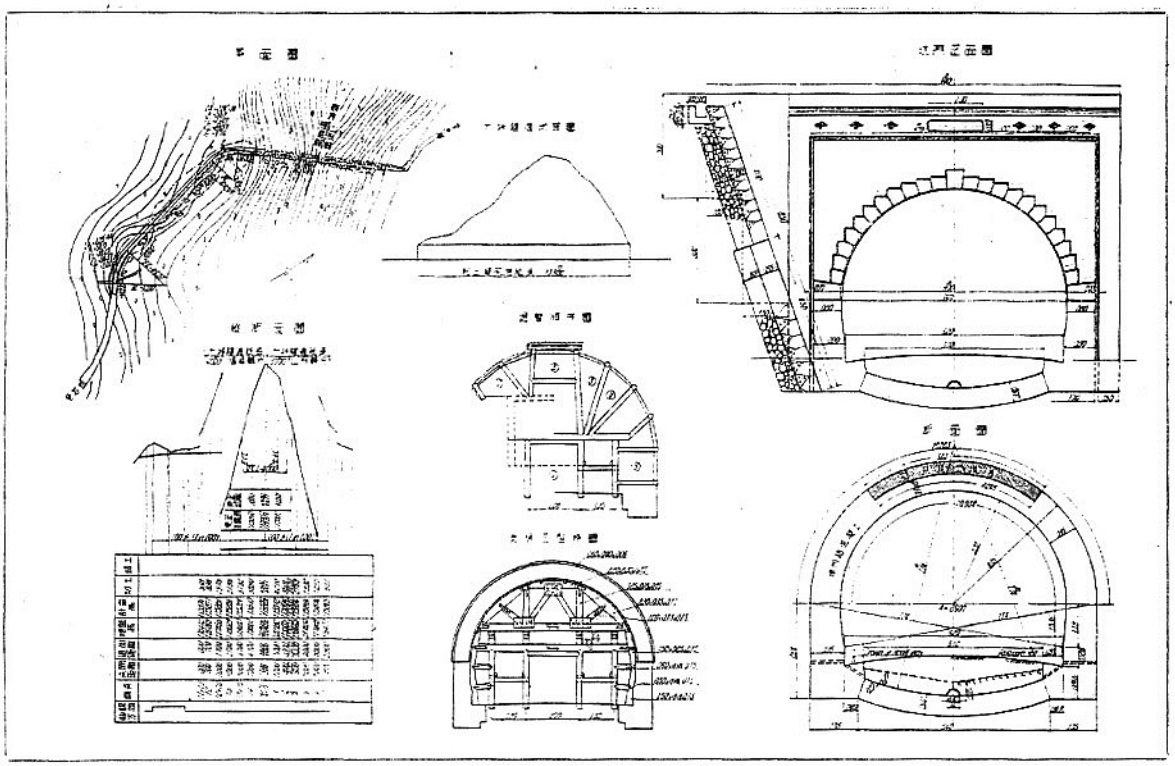
卷立方法	穹拱	場所打コンクリート 配合 1:3:6 長 135m 厚 30cm
材料及厚	側壁	同上
路面工種及厚		砂利道
排水設備及防水工		コンクリート側溝

照明設備 —

掘鑿	主要機械		—	
	施工中の換氣排水設備		換氣設備なし 自然排水	
	掘鑿勞力	導坑	火藥使用部分	3.35人/m³ (2 交代)
			火藥使用せざる部分	— 〃 (— 〃)
		切擴	火藥使用部分	1.38人/m³ (2 交代)
			火藥使用せざる部分	— 〃 (— 〃)
	火藥使用量	導坑		0.81kg/爆破m³
		切擴		0.38 〃
	穿孔長	導坑		— m/爆破m³
		切擴		— 〃

工事費			金額(圓)	單價
總工費			29 293.0	217.0 (圓/m)
掘鑿費	導坑	火藥使用部分	3 678.0	5.2 (圓/m³)
		火藥使用せざる部分	—	— 〃
	切擴	火藥使用部分	8 721.0	2.8 (圓/m³)
		火藥使用せざる部分	—	— 〃
支保工費			4 845.0	1.2 (圓/掘鑿m³)
卷立費			8 820.0	4.6 (圓/卷立m²)
坑門費			1 130.0	565.0 (圓/個)
路面費			121.0	0.2 (圓/m²)
其の他			1 978.0	—

大峠隧道



所在地	山形縣西置賜郡三澤村福岡縣耶麻郡岩月村界(大峠)	路線名	指定府縣道若松米澤線	工期	起工	昭和 7 年 12 月 7 日	
延長	119.00 m	線形	直線		掘鑿	導坑 一 日間 切擴 543 〃	
縱斷勾配	1.00 %	有效幅員	5.50 m		坑門工	62 日間	
高 有效高	4.50 m	掘鑿斷面 導坑	7.50 m²		竣工	昭和 9 年 10 月 6 日	
高 中央高	4.70 〃	掘鑿斷面 切擴	47.28 〃		卷立工	323 日間	
地質	粘土混り凝灰岩	工事執行方法	請負工事		鋪裝	— 日間	

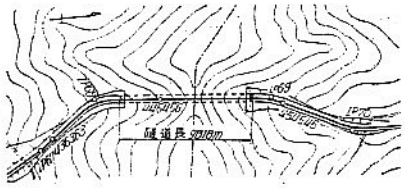
卷立方法	穹拱	現場打コンクリート 配合 1:3:6 厚 85cm 及一部 1:3:6 のコンクリートブロック卷
材料及厚	側壁	現場打コンクリート 配合 1:3:6 厚 95 cm
路面工種及厚		砂利道にして厚 0.10m の布砂利をなす
排水設備及防水工		路面中央インバート上に內法 0.30m の半圓徑の暗渠を設く 拱の天端はトタン葺とす
照明設備		—

掘鑿				
主要機械			—	
施工中の換氣排水設備			—	
掘鑿勞力	導坑	火藥使用部分	—人/m³ (一交代)	
		火藥使用せざる部分	古導坑 — 〃 (一 〃)	
	切擴	火藥使用部分	—人/m² (一交代)	
		火藥使用せざる部分	1.5 〃 (晝夜交代)	
火藥使用量	導坑		— kg/爆破m³	
	切擴		〃	
穿孔長	導坑		— m/爆破m³	
	切擴		300 〃	

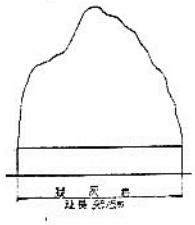
工事費			金額(圓)	單價
總工費			68 416.0	574.9 (圓/m)
掘鑿費	導坑	火藥使用部分	—	— (圓/m³)
		火藥使用せざる部分	—	— 〃
	切擴	火藥使用部分	—	— (圓/m³)
		火藥使用せざる部分	7 158.0	1.5 (圓/m³)
支保工費			7 169.0	1.5 (圓/掘鑿m³)
卷立費			40 383.0	25.0 (圓/卷立m³)
坑門費			2 286.0	山形縣分 247.0 福島縣分 2 039.0 (圓/個)
路面費			240.0	0.4 (圓/m²)
其の他			11 180.0	—

安良里隧道

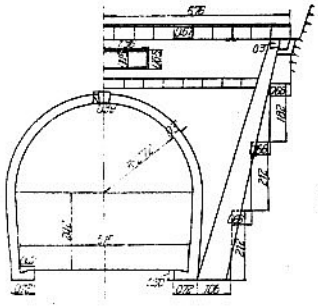
平面圖



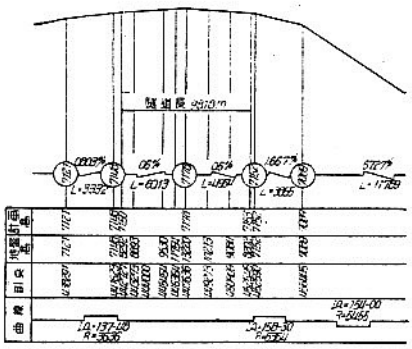
地質圖



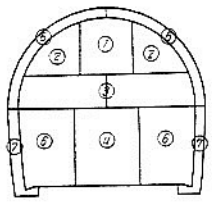
坑門圖



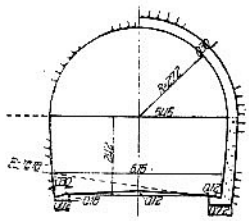
縱斷圖



掘鑿順序圖



斷面圖



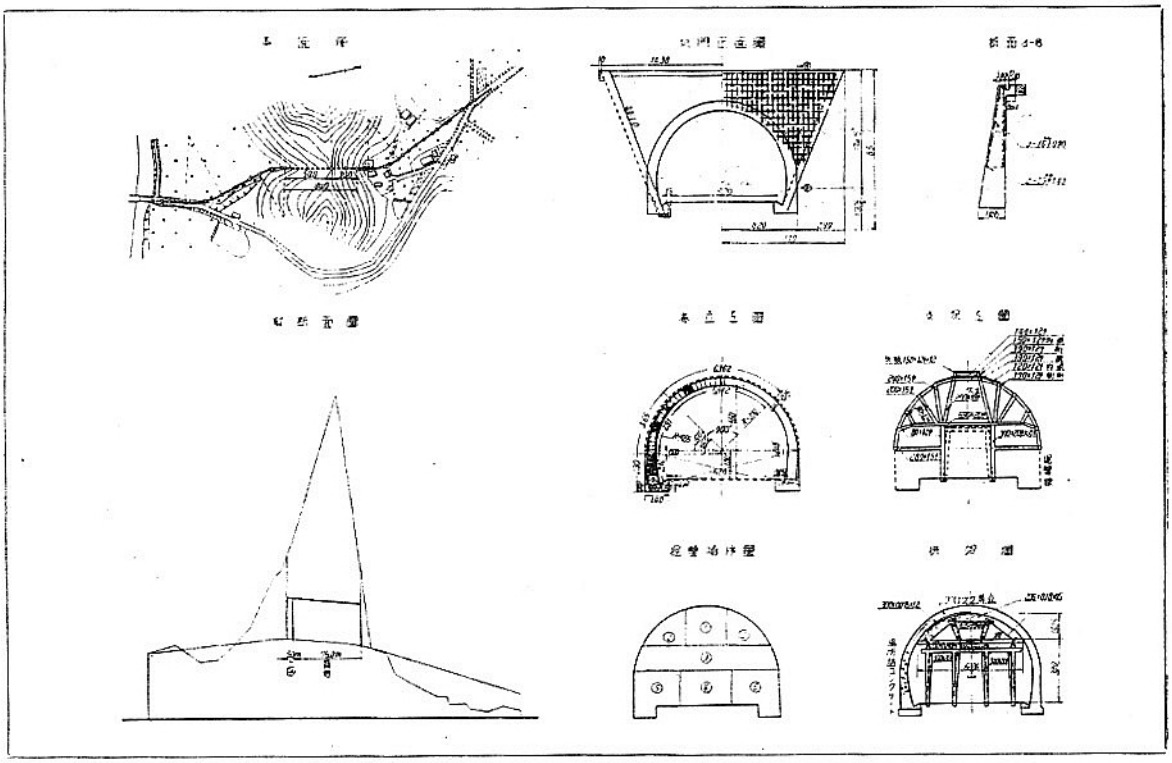
所在地		靜岡縣賀茂郡田子村安良里村界	路線名	府縣道松崎土肥線	工期	起工	昭和 5 年 3 月 25 日	
延長		98.18 m	線形	直線		掘鑿	導坑 二 日間 切擴 — 〃	
縱斷勾配		0.5 %	有效幅員	5.15 m		坑門工	— 日間	
高	有效高	舊細則 3.80 m	掘鑿斷面	導坑 3.3 m²		竣工	昭和 6 年 1 月 25 日	
	中央高	5.03 〃		切擴 21.2 〃		巻立工	— 日間	
地質		凝灰岩 斷層及湧水なし	工事執行方法	請負工事		鋪裝	— 日間	

巻立方法	窓排	場所打コンクリート 配合 1:3:6 厚 0.3m 坑門より 81m 宛他は無巻
材料及厚	側壁	同上
路面工種及厚		砂利道
排水設備及防水工		—
照明設備		—

掘鑿	主要機械		—	
	施工中の換氣排水設備		—	
	掘鑿勞力	導坑 火藥使用部分	—人/m³ (—交代)	
		導坑 火藥使用せざる部分	— 〃 (— 〃)	
		切擴 火藥使用部分	—人/m³ (—交代)	
		切擴 火藥使用せざる部分	— 〃 (— 〃)	
	火藥使用量	導坑	—kg/爆破m³	
		切擴	— 〃	
	穿孔長	導坑	—m/爆破m³	
		切擴	— 〃	

工事費			金額(圓)	單價
總工費			13 932.0	141.9 (圓/m)
掘鑿費	導坑	火藥使用部分	2 074.0	6.4 (圓/m³)
		火藥使用せざる部分	—	— 〃
	切擴	火藥使用部分	6 006.0	2.9 (圓/m³)
		火藥使用せざる部分	—	— 〃
支保工費			1 500.0	0.6 (圓/掘鑿m³)
巻立費			2 000.0	8.8 (圓/巻立m²)
坑門費			1 817.0	908.5 (圓/個)
路面費			—	— (圓/m²)
其の他			535.0	—

子守坂隧道



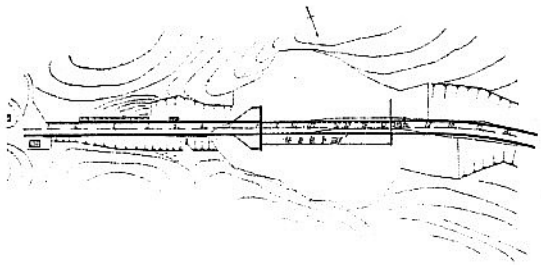
所在地	宮崎縣南那珂郡細田村・吾田村（子守坂峠）		路線名	府縣道飫肥大堂津線	工期	起工	昭和 7 年 12 月 4 日	
延長	80.00 m		線形	直線		掘鑿	導坑 80 日間 切擴 — 〃	
縱斷勾配	1.00 %		有效幅員	5.60 m		坑門工	40 日間	
高	有效高	4.70 m	掘鑿斷面	導坑	6.9 m²		竣工	昭和 9 年 3 月 31 日
	中央高	5.36 〃		切擴	39.6 〃		卷立工	80 日間
地質	頁岩 斷層なし		工事執行方法	宮崎縣直轄工事		鋪裝	— 日間	

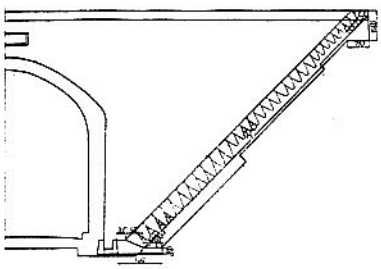
卷立方法	穹拱	コンクリートブロック配合 1:3:6 長24.0cm 上幅22.8cm 下幅21.47cm 一枚卷延長6.44m 厚0.40cm
材料及厚	側壁	場所打鐵筋コンクリート 配合 1:2:4 長 5.647m(片側分) 厚 40.0～75.0cm
路面工種及厚		砂利道
排水設備及防水工		—
照明設備		—

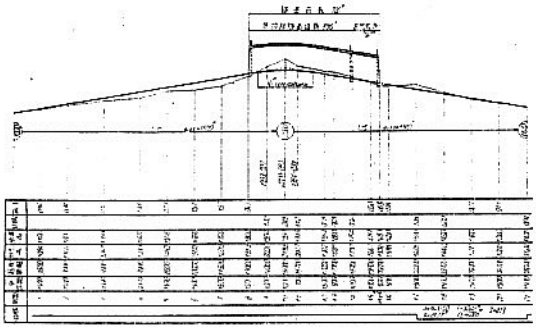
掘鑿	主要機械			—	
	施工中の換氣排水設備			—	
	掘鑿勞力	導坑	火藥使用部分	3.4人/m³（晝夜交代）	
			火藥使用せざる部分	0.7 〃（— 〃）	
		切擴	火藥使用部分	2.7/人m³（晝夜交代）	
			火藥使用せざる部分	0.7 〃（— 〃）	
	火藥使用量	導坑		0.168kg/爆破m³	
		切擴		0.168 〃	
	穿孔長	導坑		1.0 m/爆破m³	
		切擴		1.0 〃	

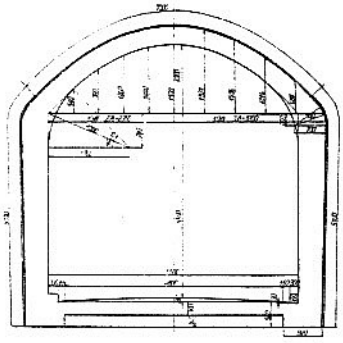
工事費			金額(圓)	單價
總工費			27 152.0	339.4（圓/m）
掘鑿費	導坑	火藥使用部分	1 500.0	2.9（圓/m³）
		火藥使用せざる部分	17.0	0.5 〃
	切擴	火藥使用部分	7 128.0	2.4（圓/m³）
		火藥使用せざる部分	97.0	0.5 〃
支保工費			3 035.0	1.3（圓/掘鑿m³）
卷立費			14 336.0	10.5（圓/卷立m²）
坑門費			1 039.0	546.5（圓/個）
路面費			—	—（圓/m²）
其の他			—	—

野間隧道







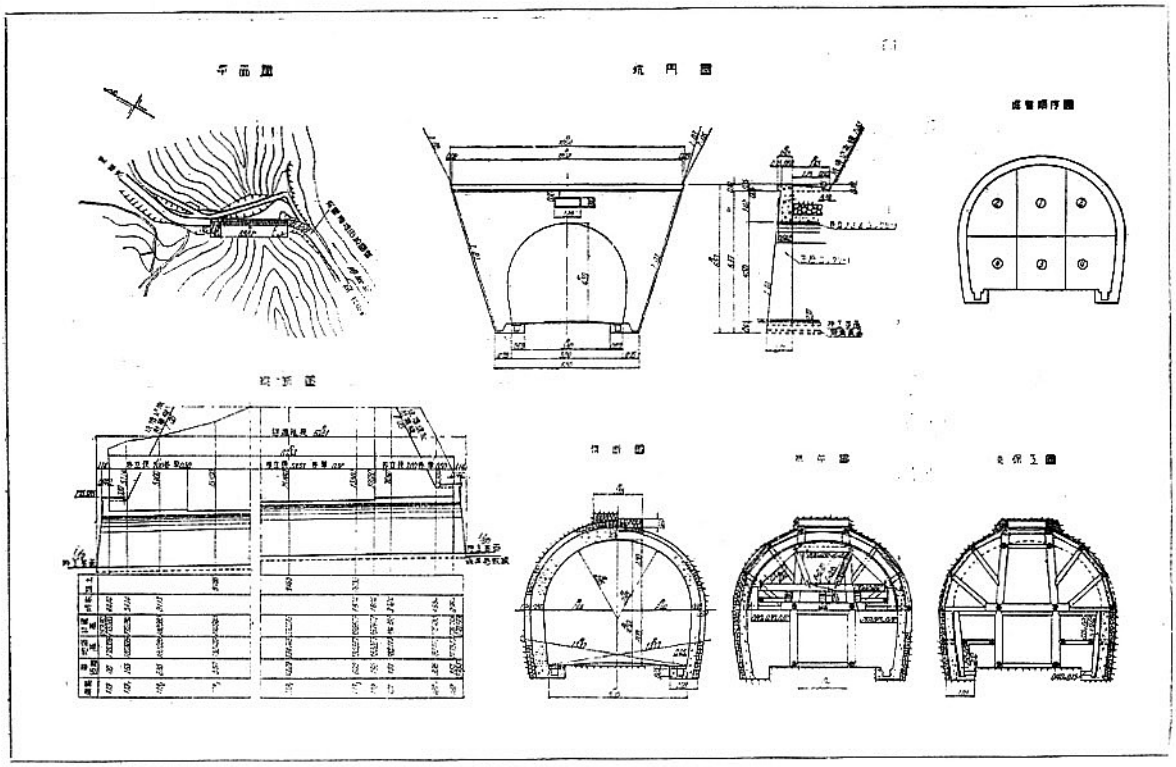


所在地	大阪府豊能郡東能勢村野間口界東郷村野間中界	路線名	府縣道妙見福住線	工期	起工	昭和 11 年 4 月 30 日	
延長	72.00 m	線形	直線		掘鑿	導坑 一日間 切擴 — 〃	
縱斷勾配	6.6 %	有效幅員	5.50 m		坑門工	— 日間	
高 有效高	4.0 m	掘鑿斷面 導坑	— m²		竣工	昭和 12 年 1 月 20 日	
高 中央高	5.5 〃	掘鑿斷面 切擴	— 〃		卷立工	— 日間	
地質	花崗岩(風化せり)	工事執行方法	請負工事		鋪裝	— 日間	

卷立方法材料及厚	穹拱	鐵筋コンクリート 配合 1:2:4 厚 40cm
	側壁	同上 平均厚 55cm
路面工種及厚		鐵筋コンクリート 配合 1:2:4 中央 38cm 兩側 30cm
排水設備及防水工		排水設備隧道下部外側に有孔ヒューム管(內徑 30cm)を兩側に敷設す 防水工アスファルト 厚 1.5cm を塗布しその上にモルタル 厚 2cm を施工す
照明設備		—

								金額(圓)	單價
掘鑿	主要機械			—	工事費	總工費		33 387.0	463.7 (圓/m)
	施工中の換氣排水設備			—		掘鑿費	導坑 火藥使用部分	—	— (圓/m³)
	掘鑿勞力	導坑	火藥使用部分	—人/m³ (—交代)			導坑 火藥使用せざる部分	—	— 〃
			火藥使用せざる部分	— 〃 (— 〃)			切擴 火藥使用部分	—	— (圓/m³)
		切擴	火藥使用部分	—人/m³ (—交代)			切擴 火藥使用せざる部分	—	— 〃
			火藥使用せざる部分	— 〃 (— 〃)		支保工費		—	— (圓/掘鑿m³)
	火藥使用量	導坑		— kg/爆破m³		卷立費		—	— (圓/卷立m²)
		切擴		— 〃		坑門費		—	— (圓/個)
	穿孔長	導坑		— m/爆破m³		路面費		—	— (圓/m²)
		切擴		— 〃		其の他		—	—

塔の峠隧道



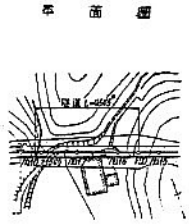
所在地	島根縣鹿足郡七日市村大字眞田	路線名	府縣道益田岩國線	工期	起工	昭和 10 年 1 月 26 日	
延長	69.81 m	線形	直線		掘鑿	導坑 — 日間 切擴 — 〃	
縱斷勾配	1.7 %	有效幅員	5.00 m		坑門工	— 日間	
高 有效高	4.0 m	掘鑿斷面 導坑	卷立厚 0.32 / 0.50 の處 3.96 / 4.32 m²		竣工	昭和 10 年 8 月 15 日	
高 中央高	4.50 〃	掘鑿斷面 切擴	卷立厚 0.32 / 0.50 の處 25.12 / 27.446 〃		卷立工	— 日間	
地質	輝緑凝灰岩 輝緑石灰岩	工事執行方法	請負工事		鋪裝	— 日間	

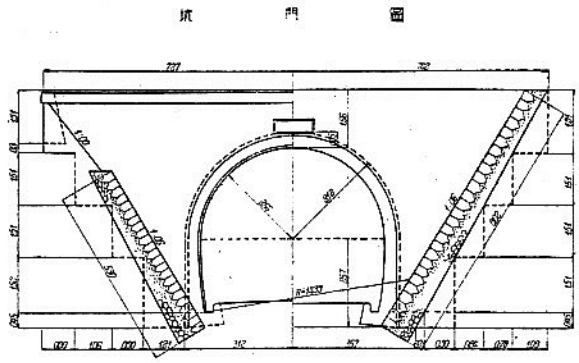
卷立方法 材料及厚	穹拱	1:3:6 コンクリート 長 53.53m 卷厚 0.32m 長 14.00m 卷厚 0.50m
	側壁	同上
路面工種及厚		砂利道
排水設備及防水工		—
照明設備		—

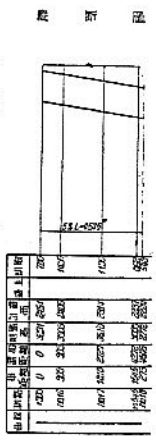
掘鑿	主要機械			—
	施工中の換氣排水設備			—
	掘鑿勞力	導坑	火藥使用部分	—人/m³ (一交代)
			火藥使用せざる部分	— 〃 (— 〃)
		切擴	火藥使用部分	—人/m³ (一交代)
			火藥使用せざる部分	— 〃 (— 〃)
	火藥使用量	導坑		— kg/爆破m³
		切擴		— 〃
	穿孔長	導坑		— m/爆破m³
		切擴		— 〃

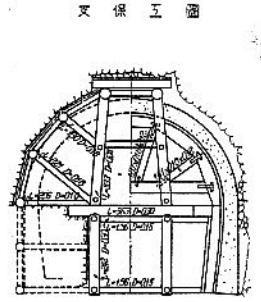
工事費			金額(圓)	單價
總工費			12 760.2	182.8 (圓/m)
掘鑿費	導坑	火藥使用部分	1 050.9	3.9 (圓/m³)
		火藥使用せざる部分	—	— 〃
	切擴	火藥使用部分	5 608.2	3.2 (圓/m³)
		火藥使用せざる部分	—	— 〃
支保工費			788.2	0.5 (圓/掘鑿m³)
卷立費			3 674.2	4.2 (圓/卷立m³)
坑門費			507.7	25.39 (圓/個)
路面費			—	— (圓/m²)
其の他			1 131.0	—

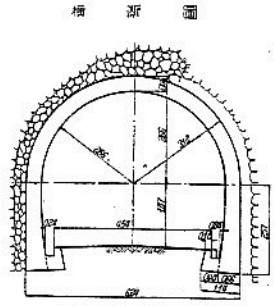
中津原隧道











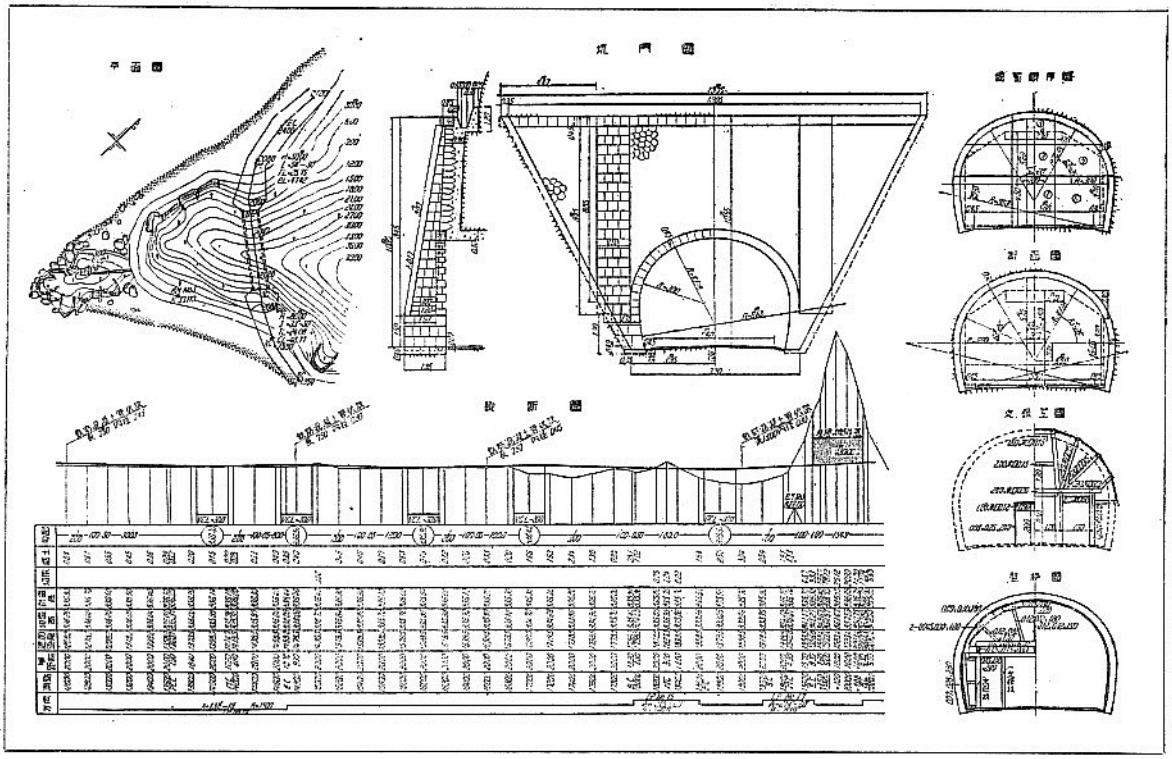
所在地	大阪府南河内郡千早村大字中津原	路線名	府縣道延命寺赤阪線	工事	起工	昭和 4 年 7 月 13 日	
延長	45.45 m	線形	直線		掘鑿	導坑 — 日間 切擴 — 〃	
縱斷勾配	5 %	有效幅員	5.32 m		坑門工	— 日間	
高 有效高	2.77 m	掘鑿斷面 導坑	9.70 m²		竣工	昭和 5 年 6 月 12 日	
高 中央高	4.43 〃	掘鑿斷面 切擴	19.50 〃		卷立工	— 日間	
地質	硬岩	工事執行方法	請負工事		鋪裝	— 日間	

卷立方法	穹拱	配合 1:3:6 コンクリート 厚 45cm
材料及厚	側壁	同上 厚 上 45cm 下 66cm
路面工種及厚		砂利道
排水設備及防水工		—
照明設備		—

掘鑿	主要機械		—				
	施工中の換氣排水設備		—				
	掘鑿勞力	導坑	火藥使用部分	—人/m³ (—交代)			
			火藥使用せざる部分	— 〃 (— 〃)			
		切擴	火藥使用部分	—人/m³ (—交代)			
			火藥使用せざる部分	— 〃 (— 〃)			
	火藥使用量	導坑		0.117kg/爆破m³			
		切擴		0.119 〃			
	穿孔長	導坑		— m/爆破m³			
		切擴		— 〃			

工事費			金額(圓)	單價
總工費			8 968.8	197.3 (圓/m)
掘鑿費	導坑	火藥使用部分	884.8	2.0 (圓/m³)
		火藥使用せざる部分	—	— 〃
	切擴	火藥使用部分	1 769.6	2.0 (圓/m³)
		火藥使用せざる部分	—	— 〃
支保工費			525.0	0.4 (圓/掘鑿m³)
卷立費			4 798.1	7.8 (圓/卷立m²)
坑門費			991.3	495.7 (圓/個)
路面費			—	— (圓/m²)
其の他			—	—

産屋隧道



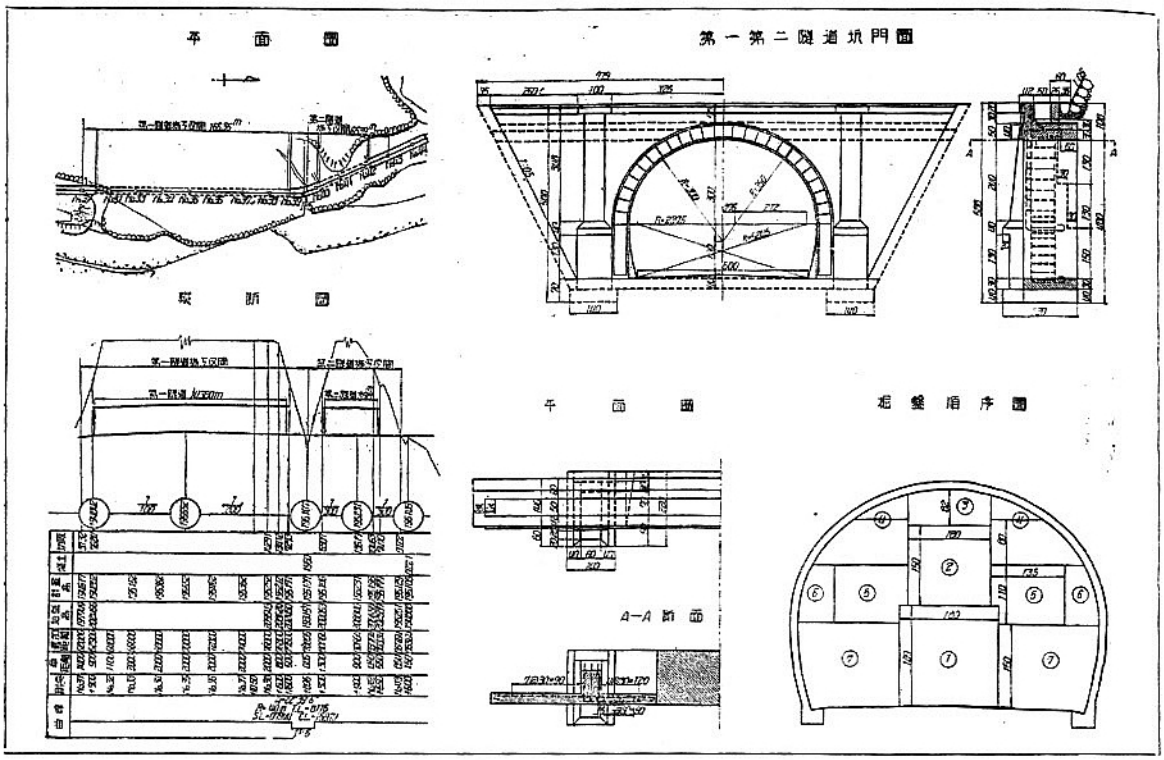
所在地	山梨縣南都留郡鰍津村大字淺川河口村字産屋ヶ崎	路線名	國道八號線	工期	起工	昭和 6 年 11 月 21 日	
延長	43.00 m	線形	直線		掘鑿	導坑 — 日間 切擴 95 〃	
縱斷勾配	1.0 %	有效幅員	5.60 m		坑門工	36 日間	
高 有效高	4.545 m	掘鑿斷面 導坑	37.38 m²		竣工	昭和 7 年 3 月 31 日	
高 中央高	5.10 〃	掘鑿斷面 切擴			卷立工	29 日間	
地質	水成岩火成岩互層	工事執行方法	內務省東京土木出張所直轄工事		鋪裝	7 日間	

卷立方法材料及厚	穹拱	配合 1:2:4 コンクリート 厚 0.30m
	側壁	〃
路面工種及厚		配合 1:2:4 コンクリート 厚 0.07m
排水設備及防水工		路面兩側に幅 0.45m の水拔斜面を設く
照明設備		—

掘鑿	主要機械		鑿岩錐	
	施工中の換氣排水設備		—	
	掘鑿勞力	導坑 火藥使用部分	2.2人/m³（一交代）	
		導坑 火藥使用せざる部分		
		切擴 火藥使用部分		
		切擴 火藥使用せざる部分		
	火藥使用量	導坑	0.36kg/爆破m³	
		切擴		
	穿孔長	導坑	0.027m/爆破m³	
		切擴		

工事費			金額(圓)	單價
總工費			14 391.0	334.8（圓/m）
掘鑿費	導坑	火藥使用部分	5 903.0	4.0（圓/m³）
		火藥使用せざる部分		
	切擴	火藥使用部分		
		火藥使用せざる部分		
支保工費			2 004.0	1.0（圓/掘鑿m³）
卷立費			3 650.0	17.0（圓/卷立m²）
坑門費			1 953.0	0.8（圓/圓）
路面費			244.0	1.0（圓/m²）
其の他			637.0	—

旗山六龜道第二號隧道



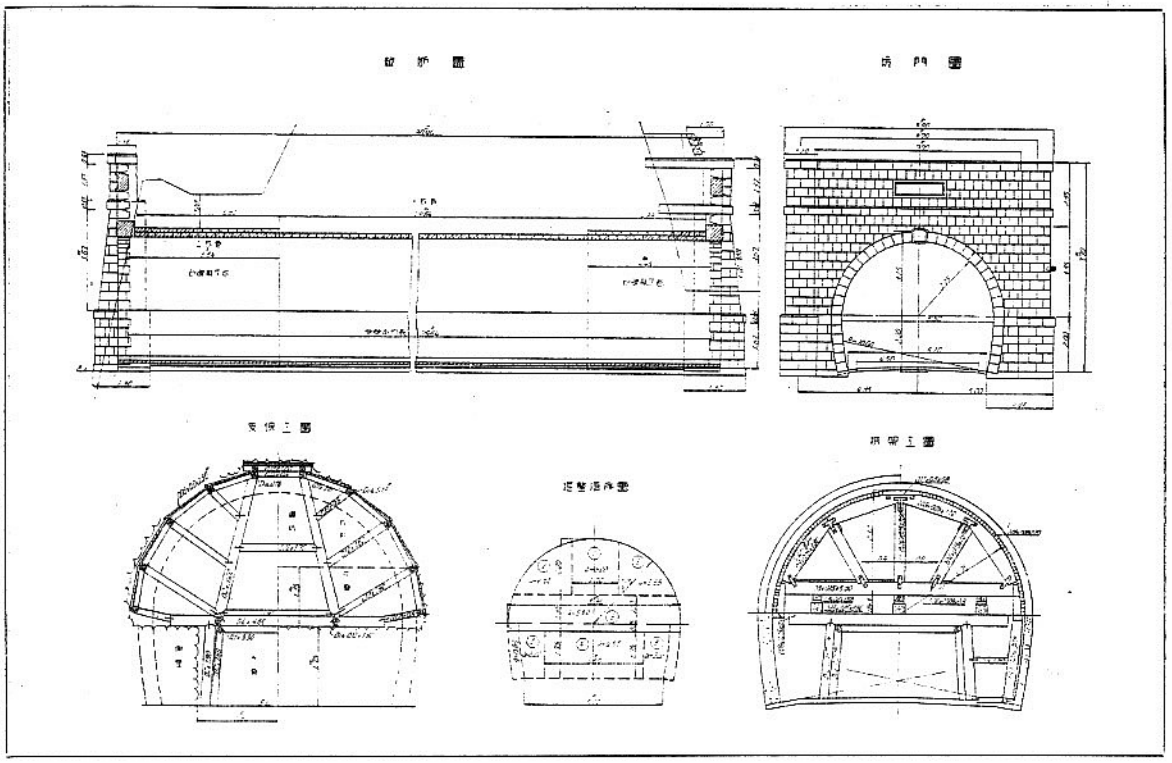
所在地	高雄州旗山郡六龜庄	路線名	指定道路旗山六龜道坑	工期	起工	昭和 11 年 12 月 14 日
延長	39.80 m	線形	直線		掘鑿	導坑 27 日間 切擴 162 〃
縱斷勾配	0.33 %	有效幅員	5.00 m		坑門工	34 日間
高 有效高	3.3 m	掘鑿斷面 導坑	3.25 m²		竣工	昭和 13 年 8 月 31 日
高 中央高	4.0 〃	掘鑿斷面 切擴	20.729 〃		卷立工	27 日間
地質	礫岩	工事執行方法	請負工事		鋪裝	— 日間

卷立方法材料及厚	穹拱	配合 1:3:6 コンクリート 厚 30cm
	側壁	同上
路面工種及厚		—
排水設備及防水工		—
照明設備		—

掘鑿				
主要機械			—	
施工中の換氣排水設備			—	
掘鑿勞力	導坑	火藥使用部分	2人/m³ (2 交代)	
		火藥使用せざる部分	— (— 〃)	
	切擴	火藥使用部分	1人/m³ (2 交代)	
		火藥使用せざる部分	— (— 〃)	
火藥使用量	導坑		0.338kg/爆破m³	
	切擴		0.187 〃	
穿孔長	導坑		— m/爆破m³	
	切擴		— 〃	

工事費			金額(圓)	單價
總工費			8 738.6	219.6 (圓/m)
掘鑿費	導坑	火藥使用部分	4 597.7	5.0 (圓/m³)
		火藥使用せざる部分		
	切擴	火藥使用部分		
		火藥使用せざる部分		
支保工費			429.9	0.5 (圓/掘鑿m³)
卷立費			1 510.2	3.4 (圓/卷立m²)
坑門費			2 200.8	1 100.4 (圓/個)
路面費			—	— (圓/m²)
其の他			—	—

湯崎隧道



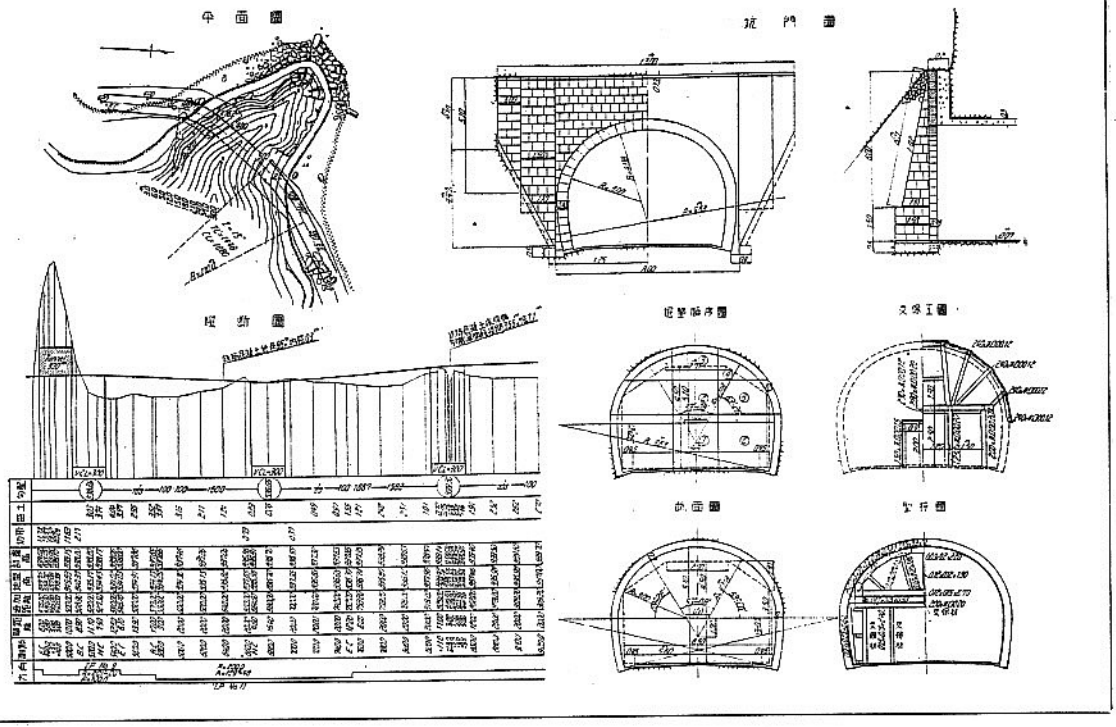
所在地	和歌山縣西牟婁郡瀬戸鉛山村	路線名	府縣道瀬戸鉛山田邊線	工期	起工	昭和 9 年 2 月 19 日	
延長	30.40 m	線形	直線		掘鑿	導坑 一日間 切擴 一 〃	
縱斷勾配	0.00 %	有效幅員	5.10 m		坑門工	日間	
高 有效高	4.60 m	掘鑿斷面 導坑	3.20 m²		竣工	昭和 10 年 3 月 31 日	
高 中央高	4.75 〃	掘鑿斷面 切擴	23.84 〃		卷立工	—	
地質	砂岩砂礫凝灰岩	工事執行方法	請負工事		鋪裝	—	

卷立方法材料及厚	穹拱	北口2枚卷 配合 1:3:6 コンクリート塊 30×16×16cm 施工延長 5.54m 南口2枚卷 配合 1:3:6 コンクリート 30×16×16cm 施工延長 4.46m 中央1枚卷 配合 1:3:6 コンクリート 30×16×16cm 施工延長 19.64m 裏込なし
	側壁	南北口 2 枚卷部分 配合 1:3:6 コンクリート 施工延長（兩側計）20.00m 厚 33.2cm 高 2.149m 中央部 1 枚卷部分 同 施工延長 39.28m 厚 16.0cm 高 2.132m
路面工種及厚		コンクリート鋪裝 配合 1:3:6 厚 10cm
排水設備及防水工		兩側 幅 30cm L型排水溝設備 防水工なし
照明設備		—

掘鑿	主要機械		—	
	施工中の換氣排水設備		—	
	掘鑿勞力	導坑 火藥使用部分	—人/m³（—交代）	
		導坑 火藥使用せざる部分	— 〃（— 〃）	
		切擴 火藥使用部分	—人/m³（—交代）	
		切擴 火藥使用せざる部分	— 〃（— 〃）	
	火藥使用量	導坑	— kg/爆破m³	
		切擴	— 〃	
	穿孔長	導坑	— m/爆破m³	
		切擴	— 〃	

工事費			金額(圓)	單價
總工費			6 786.0	223.2（圓/m）
掘鑿費	導坑	火藥使用部分	575.0	5.9（圓/m³）
		火藥使用せざる部分	—	— 〃
	切擴	火藥使用部分	2 930.0	4.1（圓/m³）
		火藥使用せざる部分	—	— 〃
支保工費			356.0	0.4（圓/掘鑿m³）
卷立費			1 039.0	2.8（圓/卷立m²）
坑門費			1 736.0	868.0（圓/個）
路面費			132.0	0.9（圓/m²）
其の他			18.0	—

小 曲 隧 道



所在地	山梨縣南都留郡船津村大字淺川	路線名	國道八號線	工期	起工	昭和 6 年 8 月 1 日	
延長	30.00 m	線形	直線（一部曲線）		掘鑿	導坑 — 日間 切擴 107 〃	
縱斷勾配	0.5 %	有效幅員	5.60 m		坑門工	32 日間	
高 有效高	4.545 m	掘鑿斷面 導坑	37.38 m²		竣工	昭和 7 年 2 月 20 日	
高 中央高	5.10 〃	掘鑿斷面 切擴			卷立工	28 日間	
地質	水成岩火成岩の互層	工事執行方法	內務省東京土木出張所直轄工事		鋪裝	5 日間	

卷立方法	寫拱	配合 1:2:4 コンクリート 厚 30cm
材料及厚	側壁	同上
路面工種及厚		配合 1:2:4 コンクリート 厚 7cm
排水設備及防水工		路面兩側に幅 0.45m の水拔斜面を設く
照明設備		—

掘鑿	主要機械		鑿岩錐	
	施工中の換氣排水設備		—	
	掘鑿勞力	導坑 火藥使用部分	1.5人/m³（一交代）	
		導坑 火藥使用せざる部分		
		切擴 火藥使用部分		
		切擴 火藥使用せざる部分		
	火藥使用量	導坑	0.34kg/爆破m³	
		切擴		
	穿孔長	導坑	0.03m/爆破m³	
		切擴		

工事費			金額(圓)	單價
總工費			9 680.0	322.7（圓/m）
掘鑿費	導坑	火藥使用部分	3 108.0	3.0（圓/m³）
		火藥使用せざる部分		
	切擴	火藥使用部分		
		火藥使用せざる部分		
支保工費			1 195.0	1.0（圓/掘鑿m³）
卷立費			3 539.0	22.0（圓/卷立m²）
坑門費			1 155.0	578.0（圓/個）
路面費			175.0	1.0（圓/m²）
其の他			508.0	—